

歳出科目 (P 252～P 253)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
中小企業融資支援事業	681,760	889,518	△207,758

主な財源		主な経費	
県支出金	5,000	報酬	1,828
諸収入	643,200	貸付金	643,200
一般財源	33,560	負担金補助及び交付金	20,800
		償還金利子及び割引料	5,000

中小企業者等の経営基盤の安定化に向け、各種制度融資の実施や信用保証料の補給などを行うことで資金調達しやすい環境を整備する。

○審査・預託事務 650,960

【目的】

中小企業者等に対して固定金利で長期に事業資金の供給を行い、資金繰りの安定及び設備投資の促進を支援する。

【4年度目標】

中小企業者等が安定した資金調達を行えるよう制度融資を行い、経営の安定と事業継続を支援する。

【実施内容】

- ・貸付金 (643,200)
- ・地方産業育成資金償還金 (5,000)
- ・金融業務専門員の配置等 (2,760)

<貸付金の内訳>

資金名	3年度予算額①	4年度予算額②	比較 (②-①)
地方産業育成資金	7,000	10,000	3,000
中小企業振興資金	7,000	5,000	△2,000
工場移転特別資金	9,000	9,000	0
経営改善支援資金	800,000	600,000	△200,000
経営力強化資金	32,000	18,000	△14,000
中心市街地活性化資金	1,300	1,200	△100
合計	856,300	643,200	△213,100

○信用保証協会保証料補助金 19,800

【目的】

中小企業者等が新潟県信用保証協会の保証付きで資金を借りる場合に、信用保証料の一部を市が補助することで、中小企業者等の負担を軽減する。

【4年度目標】

借入時の中小企業者等の負担を軽減し、資金調達しやすい環境を整える。

【実施内容】

- ・中小企業者等の資金繰りの安定と設備投資の促進を支援するため、中小企業者等が、市又は県の制度融資資金を新潟県信用保証協会の保証付きで利用した場合に信用保証協会に支払う信用保証料の一部を市が補助する。

制度資金名	補給割合
<ul style="list-style-type: none"> ・上越市地方産業育成資金 ・上越市中小企業振興資金 ・上越市経営改善支援資金 ・上越市経営力強化資金 	経営状況に応じた料率により算出した保証料に対し、最大 70%
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県小規模企業支援資金 (一般要件、小口零細企業保証制度要件) 	経営状況に応じた料率により算出した保証料に対し、最大 90%
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県フロンティア企業支援資金 (設備投資促進枠) (新技術・新事業等展開枠) 	1,000 万円以下 50% 1,000 万円超 2,000 万円以下 40% 2,000 万円超 3,000 万円以下 30% 3,000 万円超 5,000 万円以下 20% 5,000 万円超 1 億円以下 10%
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県中小企業創業等支援資金 (創業枠、第二創業枠、再チャレンジ枠) ・新潟県事業承継資金 	1,000 万円以下 50% 1,000 万円超 3,500 万円以下 30% 3,500 万円超 1 億円以下 10%

○経営改善支援資金に係る損失補償 10,000

【目的】

中小企業者等が新潟県信用保証協会の信用保証を受け、金融機関からの融資を受けやすくすることで、中小企業者等の資金繰りの安定を図る。

【4年度目標】

経営改善支援資金に係る代位弁済の損失補償に伴う事務を適切に行う。

【実施内容】

- ・中小企業者等の資金繰りの安定のため、市と新潟県信用保証協会が締結した損失補償契約に基づき、信用保証協会が金融機関に対して経営改善支援資金を代位弁済した場合、その損失の一部を市が負担する。

市から新潟県信用保証協会への補填率
保証額にかかわらず信用保険の非補填部分の 50% ただし、責任共有制度対象となる保証の場合 50%の 4/5

○利子補給補助金 1,000

【目的】

小規模事業者の設備投資を促進し、経営の安定と事業継続を支援する。

【4年度目標】

経営基盤が脆弱な小規模事業者の設備投資を支援する。

【実施内容】

- ・小規模事業者経営改善資金（マル経融資）利子補給補助金

小規模事業者が設備投資を行う際の融資の借入利子の一部を補助

対象融資制度：日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金（設備資金）

補助対象融資額：2,000万円以内

補給率：年利0.5%

補給期間：1年間分

歳出科目 (P 252～P 255)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
新産業振興事業	15,101	14,089	1,012

主な財源		主な経費	
諸収入	372	報酬	1,583
一般財源	14,729	旅費	642
		委託料	3,449
		使用料及び賃借料	1,726
		負担金補助及び交付金	5,693

市内の中小企業者等の経営基盤の強化や技術の高度化を推進するため、上越ものづくり振興センターをワンストップ窓口として、産学官連携や企業間ネットワークの構築を始め、中小企業者等が取り組む新製品・新技術の研究開発、販路開拓等に対し、総合的な支援を行う。

○上越ものづくり振興センター運営事業 4,818

【目的】

ものづくり産業の振興に資する各種事業を行う上越ものづくり振興センターを維持・運営する。

【実施内容】

人材育成、技術開発、販路開拓等の様々な課題の相談に対応するワンストップ窓口として運営する。

- ・会計年度任用職員（事務補助職員 1 人）の person 費（2,283）
- ・上越ものづくり振興センター運営協議会等の委員旅費（31）
- ・新聞購読料、事務用消耗品費、庁用車の車検整備料、燃料費等（375）
- ・電話料、複写機借上料等の運営関連経費（1,274）
- ・公益財団法人にいがた産業創造機構への派遣職員の宿舎借上経費等（855）

○中小企業研究開発支援事業 5,898

【目的】

新製品・新技術の開発支援により、中小企業者等の経営基盤を強化し、産業の活性化と雇用の創出を図る。

【4 年度目標】

新産業創造支援事業補助金を採択した全ての案件が計画どおり事業を達成できるようにする。

【実施内容】

- ・中小企業者等が行う新製品・新技術の開発や、開発された製品等の商品化に係る費用のほか、産学連携による事前調査や基礎研究に係る費用の一部を支援する。
- ・補助金交付決定先企業に対し、事業期間中の中間ヒアリング等の機会を通じて、ものづくり振興専門員等によるアドバイスをを行う。
- ・採択した事業の成果発表会を翌年度に行う。

< 補助制度の内容 >

(1) 一般研究開発事業

製品開発及び技術開発のために行う企画から設計、試作開発までの事業

- ① 農商工連携、大学等研究機関との連携…補助対象経費の 2/3 (限度額 2,000 千円)
- ② ①以外…補助対象経費の 1/2 (限度額 2,000 千円)
- (2) 特定研究開発事業
 - 上越ものづくり振興センター運営協議会の部会が承認した製品開発・技術開発のために行う調査、企画から設計、試作開発、販売プロモーションまでの事業…補助対象経費の 2/3 (限度額 3,000 千円)
- (3) 新市場開拓・商品化事業
 - 研究開発事業等により開発された技術・製品等を事業化・商品化するための事業…補助対象経費の 2/3 (限度額 1,000 千円)
- (4) 事前調査研究支援事業
 - 技術の高度化・新製品開発等に向けて行う、産学連携による事前調査・基礎研究事業…補助対象経費の 1/2 (限度額 200 千円)

○メイド・イン上越推進事業 4,374

【目的】

市内の優れた工業製品及び特産品を「メイド・イン上越」として認証し、販路開拓や販売促進を支援するほか、地域の特色ある食材をいかした“選ばれる上越ならではの新たな産品”づくりの取組を推進し、ものづくり産業の振興と上越市のPRにつなげる。

【4年度目標】

- ・優れた商品を的確に認証し、販売促進につなげる。
- ・各種取組を進めることにより、ブランド価値の向上と消費者の認知度向上を目指す。
- ・“選ばれる上越ならではの新たな産品”づくりで開発した商品の継続的な販売を推進する。

【実施内容】

- ・認証審査会を開催し、特産品において、審査体制の強化と販路拡大につなげるため、審査委員を1人増員する。(706)
- ・特産品等の一層のレベルアップに向けた専門家による個別相談会を開催する。(710)
- [充]・認証品や制度をPRするため、メイド・イン上越専用ホームページの運営のほか、消費者の認知度向上に資する訴求力の高いパンフレットを新たに作成し、効果的に配置する。(2,884)
- ・工業製品を上越妙高駅イベントスペース等で展示し、市民や来訪者に広くPRする。(26)
- ・市内3か所に特産品の常設販売コーナーを設置する。(48)
- ・商標登録した「雪むろ酒かすラーメン」の取扱店舗を増やし、新名物としての普及・定着を進める。

○雪室商品開発等支援事業 11

【目的】

上越の地域特性である雪の冷熱エネルギーを活用して地域産業を振興する。

【実施内容】

- 和田雪室(旧安塚ほのぼの荘)の維持管理
- ・土地借上料(11)

歳出科目 (P254～P255)	7款1項2目	商工振興費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ものづくり産業活性化事業	7,085	4,973	2,112

主な財源		主な経費	
一般財源	7,085	報酬	2,665
		旅費	628
		需用費	149
		委託料	1,936
		使用料及び賃借料	544

企業間・産学間での連携による新たなプロジェクトの創出等をビジネスに結び付けていくための支援を行うとともに、地域資源をいかした農商工の連携やものづくり産業の活性化を推進する。

○企業支援コーディネート事業 4,973

【目的】

企業同士や大学等研究機関との連携をコーディネートするなど総合的に支援を行い、中小企業者等の新規受注や販路開拓につなげ、経営の安定化と雇用の促進を図る。

【4年度目標】

企業間・産学間コーディネートによるマッチングを20件以上成立させる。

【実施内容】

- (1) 上越ものづくり振興センターに、ものづくり振興専門員を1人配置し、市内の中小企業者等への訪問、企業間連携及び産学連携のコーディネート、企業支援制度の活用や販路拡大等のアドバイスを行う。
 - ・会計年度任用職員（ものづくり振興専門員）の人件費（4,000）
 - ・企業訪問等に係る旅費、有料道路使用料（540）
 - ・企業訪問用庁用車（1台）の燃料費、借上料等（385）
- (2) 市内製造業者の連携促進や技術の向上、新分野進出に向けた意識啓発を図るため、大学の研究内容や事業者の先進的な取組等を知る機会として、上越ものづくり技術交流会を実施する。
 - ・講師謝金、旅費等（48）

○上越市ものづくり企業データベース事業 2,112

【目的】

市内の中小企業者等の受注機会の拡大や企業間連携の強化を図る。

【実施内容】

- ・市内のものづくり企業が保有する技術、設備、強みなどの情報をインターネットで広く発信する。

[新]・データベースの維持管理を行うほか、アクセスデータの分析及び課題抽出を行い、機能向上に資する具体的な方針を定めた上で、リニューアルを行う。（2,112）

歳出科目 (P 254～P 255)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
企業振興事業	4,359	4,341	18

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	71	報償費	192
諸収入	60	旅費	120
一般財源	4,228	需用費	16
		使用料及び賃借料	71
		負担金補助及び交付金	3,960

既存産業の高度化や新たな成長産業の創出に向け、人材育成や企業間連携を支援することにより企業の経営力を向上させる。

○見本市等出展事業補助金 1,330

【目的】

市外やオンラインで開催される見本市や商談会等への出展を促し、市内企業のマッチングの機会を創出することにより、新規受注先の獲得等、販路開拓を図る。

【4年度目標】

ものづくり企業データベースのメーリングリストなどを活用して広く周知し、本補助金の利用による見本市等への積極的な出展を促す。

【実施内容】

(1) 一般枠

中小企業者等が見本市等に出展する際の会場借上料及び小間料の一部を支援する。また、小規模企業者については、前述の経費に加え、出展小間装飾費、展示品運搬料、旅費を補助対象とする。

補助率等：初めての企業…補助対象経費の 2/3、限度額 200 千円

2 回目の企業…補助対象経費の 1/2、限度額 200 千円

3 回目の企業…補助対象経費の 1/3、限度額 200 千円

3 回まで申請可とする。なお、小規模企業者については、1 回目の補助率は 2/3、2 回目以降は 1/2 とし、利用回数制限を設けない。

(2) 新市場開拓枠

メイド・イン上越認証品の販路開拓に向けて、認証品製造事業者が出展する際の会場借上料及び小間料の一部を支援する。また、小規模企業者については、前述の経費に加え、出展小間装飾費、展示品運搬料、旅費等を補助対象とする。

補助率等：補助対象経費の 2/3、限度額 200 千円（認証品毎に 3 回まで申請可）

○人材育成事業 850

【目的】

市内ものづくり企業が成長し、安定して経営するための人材育成を支援する。

【4年度目標】

研修を受講した企業に対するアンケートにおいて、8 割以上の良好な評価を得る。

【実施内容】

- ・階層別、テーマ別の集合研修（528）

市内ものづくり企業の競争力向上に資するため、上越商工会議所や上越鉄工協同組合、中小企業大学校など、関係機関との連携の下、集合形式の研修等を行う。

研修・セミナー名	主な内容
製造業管理者向け研修	工場管理者としての役割、部下の育成方法のポイント、人材育成計画の立案方法など
経営者・管理者向けセミナー	経営マネジメント手法の習得（経営戦略、人事、労務管理、財務管理、営業戦略など）
新製品・新技術開発、新分野・新産業参入チャレンジセミナー	新事業展開や新分野への参入に向けた、新製品・新技術開発等の先行事例の紹介など
[新]DX（デジタルトランスフォーメーション）セミナー	DX導入を検討する企業に向けた、DXの内容や導入事例の紹介など

・製造業人材育成支援事業補助金（130）

市内製造業の小規模企業者等が自社の個別課題に応じて行う研修経費の一部を支援する。

(1) 派遣研修型

人材育成機関が実施する研修に社員を派遣して受講する際に要する研修費用…補助対象経費の1/2以内（限度額30千円）

(2) 講師招へい型

自社等に講師を招へいする際に要する費用及び会議室の借上費用…補助対象経費の1/2以内（限度額50千円）

・製造業技術力向上支援事業補助金（192）

市内製造業の中小企業者等（従業員21人以上）が行うものづくりに関する技能習得、技術向上を目的とした研修経費の一部を支援する。

(1) 派遣研修型

人材育成機関が実施する研修に社員を派遣して受講する際に要する研修費用…補助対象経費の1/2以内（限度額30千円）

(2) 講師招へい型

自社等に講師を招へいする際に要する費用及び会議室の借上費用…補助対象経費の1/2以内（限度額50千円）

○上越ものづくり協議会補助金 1,908

【目的】

市内中小企業者で組織する上越ものづくり協議会への支援を通じて、上越地域のものづくり産業の活性化を図る。

【4年度目標】

展示会への共同出展に参加する企業を6社以上確保するとともに、100件以上の商談等を行う。

【実施内容】

上越ものづくり協議会が行う機械要素技術展への共同出展を支援する。

○工業関係団体等事業活動費補助 200

【目的】

地域の伝統的な産業である酒造りの技術向上や技能伝承に取り組む頸城杜氏団体（上越地区酒造研究会）の活動を支援する。

【4年度目標】

酒造りの技術向上と技能伝承の取組を推進し、杜氏・蔵人の育成・確保を目指す。

【実施内容】

上越地区酒造研究会が行う杜氏・蔵人の技術向上や技能伝承のための清酒品評会や技術研修会等の活動を支援する。

○中山間地域振興作業施設維持経費 71

【実施内容】

- ・清里区武士作業施設の借地料
建物は民間企業に貸与

提出課	産業立地課
-----	-------

歳出科目 (P 254～P 257)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
企業誘致促進事業	12,157	14,032	△1,875

主な財源		主な経費	
一般財源	12,157	報酬	1,319
		需用費	738
		委託料	1,032
		使用料及び賃借料	966
		負担金補助及び交付金	7,210

【目的】

地域経済の活性化のため、市内での企業の立地を促進する。

【4年度目標】

地域経済の活性化のため、当市の特性をいかせる企業の誘致活動や産業団地等に進出した企業を含む市内企業に対する事業活動のフォローアップなどを行う。また、首都圏の企業の地方拠点整備やリモートワーク等が促進している状況を捉え、IT企業等のサテライトオフィスや上越妙高駅周辺への先進企業等の誘致に取り組む。

【実施内容】

(1) 戦略的な企業誘致活動の実施 (2,989)

- ・直江津港や北陸新幹線、上信越自動車道等、広域交通網の結節点である物流の拠点性をいかし、県と連携した企業誘致活動を推進する。

<対象業種等>

直江津港の利用が見込める業種（物流関連、製造業 等）

既に地域に根差している企業の発展・事業拡大に資する業種

IT企業等のサテライトオフィス

新たな技術やビジネスモデル等を用いて事業を行う先進企業

- ・市内企業を訪問し、情報収集やニーズ把握、支援制度の紹介等を行うことにより、当市での継続的な事業展開と更なる設備投資の促進を図る。

(2) IT企業等のサテライトオフィスの誘致に向けた取組 (7,905)

- ・若者・子育て世代に向けて多様な働く場を創出するため、サテライトオフィスの誘致に向け、新たなオフィスの設置に係る経費の一部を補助する。

<支援内容>

サテライトオフィス等家賃補助金

- ・市内にサテライトオフィスを開設するIT企業等の家賃の一部を補助する。
- ・対象経費：オフィスの家賃
- ・補助率：1/2
- ・補助上限額：1,000千円/年（3年間）

サテライトオフィス等リフォーム補助金

- ・市内にサテライトオフィスを開設するIT企業等が行うオフィスのリフォーム等の費用の一部を補助する。
- ・対象経費：オフィスの購入費、リフォーム費
- ・補助率：2/3
- ・補助上限額：2,000千円/件

サテライトオフィス等視察費用補助金

- ・市内にサテライトオフィスの開設を検討するIT企業等の視察の費用の一部を補助する。
- ・対象経費：宿泊費、レンタカー使用料
- ・補助率：1/2
- ・補助上限額：宿泊5千円/泊（2泊3日、3人まで）、レンタカー4千円/日（72時間まで）

[充] (3) 企業誘致支援サービス事業の活用 (867)

- ・全国の企業情報を有する民間企業の支援メニューの活用により、本市への立地意向調査を実施し、効率的な企業誘致活動を行う。

(4) 企業立地ガイドブックの作成 (396)

- ・誘致活動に使用する企業立地ガイドブックの内容を更新し、増刷する。

<分譲中の産業団地の状況 令和4年1月末現在>

設置者	団地名	工場用地 面積 [ha]	分譲 企業数 [社]	分譲済 面積 [ha]	分譲率 [%]	分譲可能 面積 [ha]
新潟県	新潟県南部産業団地	91.60	53	81.07	88.5	10.53
上越市	大潟工業団地（大潟区）	85.32	18	50.26	58.9	35.06
	板倉北部工業団地（板倉区）	6.10	8	2.98	48.9	3.12
	今曽根工業団地（清里区）	1.75	6	1.36	78.0	0.39
合計		184.77	85	135.68	73.4	49.09

※大潟工業団地の分譲可能地は民有地

※表中の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないことがある。

※前頁の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和3年度3月 補正予算額 (※)	当初予算額	合計	令和2年度3月 補正予算額	当初予算額	合計	
16,900	12,157	29,057	0	14,032	14,032	15,025

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

歳出科目 (P 256～P 257)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
産業団地管理費	25,442	26,949	△1,507

主な財源		主な経費	
県支出金	13,339	需用費	2,214
一般財源	12,103	役務費	95
		委託料	21,608
		使用料及び賃借料	24
		負担金補助及び交付金	1,073

【目的】

産業団地において、分譲用地及び調整池等を適切に管理する。

【実施内容】

団地名	主な内容	
新潟県南部産業団地	草刈り、緑地帯枝剪定、害虫駆除、調整池ポンプ施設点検	14,509
西田中企業団地	草刈り	125
下五貫野企業団地	草刈り、調整池汚泥処理	1,086
下五貫野第二企業団地	草刈り、害虫駆除	313
流通業務団地	草刈り、調整池汚泥処理	1,989
和田企業団地	草刈り、害虫駆除	304
和田第二企業団地	草刈り、調整池汚泥処理	2,224
浦川原第一工業団地（浦川原区）	草刈り、側溝等清掃、法面保護工事	1,360
浦川原第二工業団地（浦川原区）	草刈り	45
黒川工場団地（柿崎区）	草刈り	275
大潟工業団地（大潟区）	犀潟・潟町間鉄道線路側溝利用者協議会負担金	1,030
西福島工業団地（頸城区）	草刈り	441
板倉北部工業団地（板倉区）	草刈り	737
今曽根工業団地（清里区）	草刈り	217
三和西部工業団地（三和区）	草刈り、看板修正	50
三和西部産業団地（三和区）	草刈り、害虫駆除、看板修正 岡木溜排水路維持管理負担金	737

※新潟県南部産業団地の管理業務のうち、一部は県からの受託事務

提出課	産業政策課
-----	-------

歳出科目 (P 256～P 257)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
商業振興支援事業	45,401	68,872	△23,471

主な財源		主な経費	
諸収入	5,940	旅費	78
市債	4,800	委託料	4,883
一般財源	34,661	使用料及び賃借料	5,940
		負担金補助及び交付金	34,500

商工団体等が実施する賑わい創出のための取組や地域の事業者による売上増加に資する活動を支援することで、個店の経営力や集客力の向上を図り、地域商業の振興につなげる。

○大島やまざくら管理運営業務 4,883

【目的】

人口減少に伴い商店が著しく減少した大島区において、高齢者等交通弱者の買い物の利便性を確保する。

【4年度目標】

利用者数 42,100 人

【実施内容】

- ・大島やまざくら指定管理委託料
指定管理者：有限会社やまざくら
指定期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日

○地域商業活性化事業補助金 25,000

【目的】

商店街組合や商工団体等が実施する個店の売上向上や固定客、常連客の増加に向けた主体的な取組を支援することにより、商店街等の活性化及び市内全域の消費の底上げを図る。

【4年度目標】

新型コロナウイルス感染症の影響による消費の落ち込みが続く中で、商工団体等が主体的に実施する事業を支援することにより、商工団体等の売上の回復及び商業の活性化を図る。

補助件数：8件

【実施内容】

- ・固定客、常連客の確保や売上の維持向上に直接的な効果が期待される事業に対し、事業に要する経費の一部を補助する。
- ・一般事業枠（単一団体で実施する事業）
補助率：2/3
補助上限額：2,500千円
- ・連携事業枠（複数団体で実施する事業）
補助率：3/4
補助上限額：5,000千円

○オラレ上越設置協力事業 6,018

【目的】

東京都府中市が上越市内で運営する場外舟券発売場が、協定に基づき円滑に運営されるよう協力する。

【実施内容】

- ・場外舟券発売場施設借上料 (5,940)
オラレ上越が設置されている建物の一部を借り上げ、府中市へ転貸
- ・オラレ自治体責任者会議等参加 (78)
オラレが設置されている自治体が参集する会議に出席し、情報交換を実施

[新]○空き店舗等利用促進補助金 (13 区対応型) 3,500

【目的】

既存インフラである 13 区の商業地の空き店舗、空き家を有効活用し、商業施設の出店や事務所の開設を促進する。

【4 年度目標】

関係機関と連携し、起業予定者等への情報発信を適切に実施するとともに、出店者の事業の実現性や継続性を強化するため、事業計画書のブラッシュアップや出店後のフォローアップを行い、伴走型の支援を実施する。

補助件数：3 件

【実施内容】

- ・13 区の商業地の空き店舗等に出店する際の改装費を補助する。

店舗等	補助率	限度額
全床利用の店舗等	1/2	2,000 千円
1 階店舗等	1/2	1,000 千円
2 階店舗等	1/4	500 千円

- ・事業者の経営課題の解決に資するため、公益財団法人にいがた産業創造機構等の支援機関と連携した個別相談会を定期的に開催し、事業者に寄り添った支援を行う。

[新]○商店街等環境整備事業補助金 6,000

【目的】

商店街等の来訪者の利便性や環境維持を図るため、商店街等が実施する共有施設の改装や維持管理を支援し、快適な商環境づくりを促進する。

【4 年度目標】

補助件数：3 件

【実施内容】

- ・商店街等の共用施設の新設や増改築、無料Wi-Fiや公衆トイレの設置など、来訪者の利便性向上に資する事業に対し、事業に要する経費の一部を補助する。
- ・補助率：1/2
- ・補助上限額：2,000 千円

歳出科目（P256～P257）	7款1項2目	商工振興費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
中心市街地活性化対策事業	27,937	27,070	867

主な財源		主な経費	
財産収入	1,586	報酬	1,759
一般財源	26,351	委託料	8,987
		共済費	372
		役員費	788
		負担金補助及び交付金	15,300

第3期中心市街地活性化プログラム（以下「活性化プログラム」という。）に基づき、商店街組合や市民団体等による取組を推進し、高田・直江津両地区の中心市街地の活性化を図る。

○中心市街地活性化推進事業 13,037

【目的】

上越商工会議所やまちづくり会社等の関係機関と連携し、活性化プログラムを推進する。

【4年度目標】

高田地区：商店街等の魅力や利便性の向上、街なかの回遊や居住の促進に向けた取組を支援する。

直江津地区：うみがたり等の拠点施設をいかした街なか回遊の取組や来訪者の受入環境の整備を支援する。

【実施内容】

- ・まちづくり支援業務（委託料 6,116）
- ・交通量調査（委託料 2,871）
- ・中心市街地活性化協議会運営負担金（負担金 400）
活性化プログラム推進に関する業務、空き店舗解消に向けたテナント誘致業務
- ・消費動向調査（郵便料 788）
- ・国及び県、支援機関との協議等（普通旅費 110、有料道路使用料 25）
- ・その他一般事務費（会計年度任用職員報酬、共済費、消耗品費ほか 2,727）

○まちづくり会社交付金事業 10,400

【目的】

商店街組合や市民団体等が主体となった、街なかの賑わいや来訪機会の創出に資するイベントの開催やサービスの提供、担い手の育成など、中心市街地活性化につながる取組を支援する。

【4年度目標】

ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新たな取組や既存の資源をいかした取組を支援することで、街なかの賑わいの創出や関係団体の連携強化を図る。

【実施内容】

- ・若手商店主や市民団体等が高田・直江津両地区において実施する新たな取組や既存の資源を活用した取組、商店街関係者によるテナント誘致等への支援（870）
- ・高田・直江津両地区の中心市街地の賑わいを創出するイベント事業の支援（7,930）
- ・直江津まちづくり活性化協議会による「ガイドマップ事業」など情報発信・PR事業の支援（500）

- ・なおえつ茶屋運営事業の支援（1,000）
- ・水族博物館をいかした街なか回遊促進・PR事業の支援（100）

○空き店舗等利用促進補助金（中心市街地対応型） 4,500

【目的】

既存インフラである中心市街地の空き店舗、空き家を有効活用し、商業施設の出店や事務所の開設を促進する。

【4年度目標】

関係機関と連携し、起業予定者等への情報発信を強化するとともに、出店者の事業の実現性や継続性を強化するため、事業計画書のブラッシュアップや出店後のフォローアップを行い、伴走型の支援を実施する。

補助件数：4件

【実施内容】

- ・中心市街地の空き店舗等に出店する際の改装費を補助する。

店舗等	補助率	限度額
全床利用の店舗等	1/2	2,000 千円
1階店舗等	1/2	1,000 千円
2階店舗等	1/4	500 千円

- ・事業者の経営課題の解決に資するため、公益財団法人にいがた産業創造機構等の支援機関と連携した個別相談会を定期的を開催し、事業者に寄り添った支援を行う。

提出課	産業立地課
-----	-------

歳出科目 (P256～P257)	7款1項2目	商工振興費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
直江津港振興事業	3,542	4,653	△1,111

主な財源		主な経費	
一般財源	3,542	報償費	959
		旅費	213
		需用費	348
		役員費	20
		使用料及び賃借料	172
		負担金補助及び交付金	1,830

当市の重要な産業基盤である直江津港の利活用を促進することにより、市内産業の活性化と地域の振興を図る。

○港湾振興企画事業 3,482

【目的】

港湾事業者等と連携した港湾サービスの充実を図りながら効果的なポートセールスに取り組み、外貿定期コンテナ貨物取扱量を拡大することにより、市内産業の活性化を図る。

港湾管理者である新潟県や港湾事業者等と連携し、直江津港におけるカーボンニュートラルレポート形成を推進する。

【4年度目標】

- ・外貿定期コンテナ貨物取扱量の拡大のため、利用企業の増加を図る。
- ・外貿定期コンテナ航路を維持する。
- ・港湾振興専門員からの助言の下、港湾事業者等と連携した取組を推進する。
- ・直江津港におけるカーボンニュートラルレポート形成を推進するため、形成計画を策定する新潟県と連携し、計画策定の準備を進める。

【実施内容】

- (1) 外貿定期コンテナ利用促進支援事業補助金 (1,820)
 - ・直江津港の利用促進を図るため、新たに貿易を始める企業や他港のみを利用している企業に対して、直江津港を利用する経費の一部を補助する。
- (2) ポートセールス (645)
 - ・外貿定期コンテナ貨物取扱量の拡大のため、新潟県や港湾事業者と連携し、市内企業を始め、長野県内を中心とした市外の荷主企業への訪問や企業向け説明会等を通じて直江津港の利用を促すことにより、利用企業の増加を図る。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により、企業訪問ができないことも想定されることから、オンラインによるポートセールスも実施していく。
- (3) 港湾振興専門員報償金 (959)
 - ・直江津港の振興を図るため、港湾振興専門員が有する国際物流に係る専門的な知見を活用し、荷主企業等に対して直江津港の利用提案を行うほか、港湾事業者等関係者と連携した取組を進める。
- (4) 港湾振興やカーボンニュートラルレポート形成に係る各種会議等への参加 (58)

【目的】

メタンハイドレートに関する市民の関心を高めるとともに、関係団体等と連携し、商業化に際しての直江津港の活用を目指す。

【4年度目標】

- ・環境イベント等を活用した広報・啓発活動を継続し、メタンハイドレートに対する市民の関心を高める。
- ・メタンハイドレートの調査研究等に関する情報を収集し、関係者との関係構築を図りながら、国等へ働きかけを行う。

【実施内容】

- (1) メタンハイドレートに対する理解促進
 - ・環境イベントや小学校への出張授業等を通じた市民へのメタンハイドレートに関する周知・啓発
- (2) 他団体との関係構築
 - ・海洋エネルギー資源開発促進日本海連合（12 府県）、新潟県、地元エネルギー関連事業者等との連携・情報共有
 - ・国や関係機関の調査研究等に関する情報収集
- (3) 国への働きかけ
 - ・関係機関等と連携し、商業化に向けた取組の加速と直江津港の活用を国に働きかける。

歳出科目（P256～P257）	7款1項2目	商工振興費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
貿易振興事業	3,578	3,575	3

主な財源		主な経費	
一般財源	3,578	旅費	106
		役務費	112
		委託料	1,109
		使用料及び賃借料	26
		負担金補助及び交付金	2,180

【目的】

市内企業の海外事業展開促進に向けた支援を行い、今後の事業展開に伴う地域経済の活性化や直江津港を通じた物流の促進を目指す。

【4年度目標】

国内外の関係機関等との連携を構築・強化し、市内企業への的確な情報提供や支援を通じて、企業の海外事業展開を促進する。

【実施内容】

- (1) 海外販路拡大に向けた情報収集等（52）
 - ・市内企業の取組状況や海外市場動向に関する情報収集
 - ・国内外の支援機関や海外進出企業等を通じた現地とのつながりの構築・強化
 - ・越境ECやオンライン商談等の非接触型の海外展開支援メニューに関する情報提供
- (2) 貿易関連団体等への負担金の支出（880）
 - ・海外ビジネス情報の収集や情報提供を行うために貿易関連団体等に負担金を支出
 - <貿易関連団体等>
 - ・独立行政法人 日本貿易振興機構新潟貿易情報センター（ジェトロ新潟）
 - ・新潟県大連経済事務所
 - ・公益財団法人 環日本海経済研究所（ERINA）
 - ・日ロ沿岸市長会
- (3) 「大連日本商品展覧会」への参加（2,646）
 - ・中国・大連市で開催される日本商品展覧会に企業とともに出展するほか、出展企業に対し、展覧会出展に係る費用の一部を支援する。
 - <大連日本商品展覧会の概要>
 - ・開催場所：中国・大連市
 - ・主催：大連市人民政府、遼寧省商務庁、中国国際貿易促進委員会遼寧省分会
 - ・内容：数多くの日本企業が一堂に会する中国国内における日本商品に特化した展示販売商談会
 - ・出展企業数：330社（令和2年実績）
 - ※令和3年は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
 - ・来場者数：約10万3,000人（令和2年実績）

提出課	産業政策課
-----	-------

歳出科目 (P 258～P 259)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
住宅建築促進事業	849,000	1,045,000	△196,000

主な財源		主な経費	
諸収入	849,000	貸付金	849,000

【目的】

貸付残高に対する預託及び償還等の事務を適切に行う。

【実施内容】

- ・貸付期間：平成 17 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日
- ・償還期間：最長 20 年
- ・預託期間：令和 11 年度まで市内金融機関へ預託

年度	元年度	2 年度	3 年度
預託件数(件)	594	561	530
預託額	1,519,792	1,271,288	1,051,240

歳出科目（P258～P259）	7款1項2目	商工振興費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
計量検査事業	2,688	8,188	△5,500

主な財源		主な経費	
一般財源	2,688	報酬	1,720
		職員手当等	359
		共済費	372
		旅費	140
		需用費	50
		使用料及び賃借料	22

【目的】

消費者及び事業者が安心して商取引を行う環境を整え、円滑な経済活動を促すため、計量法に基づく検査等を実施する。

【4年度目標】

立入検査業務などの検査及び事務を円滑に行う。

立入検査目標件数：商品量目 10店、燃料油メーター 8店、プロパンガスメーター 8店

【実施内容】

- ・計量業務推進員の配置（2,513）
- ・全国特定市計量行政協議会負担金（18）
- ・その他消耗品費等（157）

提出課	産業立地課
-----	-------

歳出科目 (P 258～P 259)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
設備投資促進事業	316,085	284,357	31,728

主な財源		主な経費	
諸収入	20,491	報酬	140
一般財源	295,594	旅費	9
		負担金補助及び交付金	295,445
		貸付金	20,491

【目的】

財政的支援を行うことにより、企業の設備投資を促し、市内企業の持続的な成長・発展と地域経済の活性化に寄与する。

【4年度目標】

企業に対して積極的に支援制度を周知し、業務拡大や生産性向上に向けた設備投資を促す。

【実施内容】

(1) 企業設置等奨励金 (295,445)

- ・対象工場等：55 企業 92 工場等

工場、設備等の新設・増設又は更新に対して奨励措置を行う。

各交付年度における奨励金の上限額は、1 企業 5,000 万円

- ・指定基準

- 工場、設備等に係る固定資産の取得価額の合計額（ファイナンスリース契約で取得した償却資産も含む。）及び新規雇用者数※が下表に該当すること。

	固定資産の取得価額		新規雇用者数
中小企業	重点業種	2,000 万円以上	要件なし
	その他業種	3,000 万円以上	
大企業	2 億円以上		5 人以上

- 公害を発生するおそれがないこと。

- 市税を完納していること。

※ 新規雇用者とは、①新規に採用する常用使用従業員のうち、市内に住所を有する者、②常用使用従業員のうち、新たに市内に住所を有することになった者をいい、①及び②の合計数が上記の雇用者数を満たす場合に適用

・対象業種及び交付割合

		1年度	2年度	3年度
重点業種	製造業、道路貨物運送業、倉庫業、こん包業、卸売業、コールセンター	100/100	100/100	100/100
その他業種	旅館、情報サービス業、自然科学研究所、植物工場	100/100	60/100	40/100

(2) 工場等設置資金預託金 (20,491)

- ・融資限度額：工場等の新設・増設 2億円、設備の新設・更新 5,000万円
- ・貸付期間：12年以内（据置2年以内）
- ・利率：2.00%

(3) 企業振興審議会委員報酬及び旅費 (149)

(4) 地域未来投資促進法に基づく設備投資の促進

- ・制度概要：一定の要件を満たす土地、建物、償却資産のうち構築物に係る固定資産税を3年間課税免除とする。
- ・対象者：「地域経済牽引事業計画」の県承認かつ主務大臣による先進性等の確認を受けた企業

(5) 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく設備投資の促進

- ・制度概要：過疎地域において取得した事業用資産のうち、一定要件を満たす資産に係る固定資産税を3年間課税免除とする。
- ・対象者：過疎地域内(安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、吉川区、中郷区、板倉区、清里区、三和区、名立区)で製造業、情報サービス業等、農林水産物等販売業、旅館業を行う中小企業

(6) 中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入の促進

- ・制度概要：一定の要件を満たす設備投資に係る固定資産税を3年間課税免除とする。
- ・対象者：設備投資を通じて労働生産性を年平均3%以上向上させるための計画（先端設備等導入計画）を作成し、市の認定を受けた中小企業

提出課	産業政策課
-----	-------

歳出科目 (P 258～P 259)	7 款 1 項 2 目	商工振興費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
地域中核企業成長促進支援事業	55,903	56,007	△104

主な財源		主な経費	
国庫支出金	27,892	報酬	2,552
一般財源	28,011	共済費	544
		報償費	74
		旅費	158
		負担金補助及び交付金	52,000

地域内外からの雇用や地域内取引を増やし、地域経済の活力向上を図るため、研究開発や生産性の向上等に積極的に取り組むものづくり企業を集中的に支援し、当該企業及び関係する地域企業群の成長を促す。

【目的】

新たな事業展開と生産効率や職場環境の向上などに積極的に取り組む企業に対して支援を集中し、地域全体の産業振興を目指す。

【4年度目標】

研究開発や生産性の向上等に積極的に取り組むものづくり企業を集中的に支援することにより、当該企業及び関係する地域企業群の成長を促し、地域内外からの雇用や地域内取引を増やし、地域経済の活力向上を図る。

【実施内容】

- ・提案型モデル支援事業 (50,067)
 - 企業が、新製品・新技術の開発を始め、生産性の向上、新分野への進出、新規販路開拓などを行うことにより、地域に波及効果をもたらすモデル的な取組に係る経費を補助
- ・生産性向上支援事業 (1,000)
 - 生産性の向上を図るための計画策定に向け、企業が行う外部の専門家を活用した工場診断等の取組に係る経費を補助
- ・企業支援コーディネーター事業 (3,690)
 - 地域中核企業の支援に特化し、企業の成長に必要な情報収集や各支援機関との調整などを行う、事業運営のコーディネーターを配置
- ・地域中核企業認知度向上事業 (1,030)
 - 地域中核企業の知名度向上や人材確保・育成を支援するため、高校生とその保護者等を対象とした工場見学などの事業を実施
- ・その他普通旅費等 (116)

提出課	観光交流推進課
-----	---------

歳出科目 (P 258～P 259)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
観光振興対策事業	94,643	87,387	7,256

主な財源		主な経費	
財産収入	320	報酬	4,218
諸収入	7,841	委託料	34,737
一般財源	86,482	需用費	1,017
		役務費	1,436
		負担金補助及び交付金	50,651

観光情報の提供、観光資源のPR、関係団体の取組への支援などを通じ、観光の振興と多様な交流機会の創出を図る。

○観光案内運営事業 19,100

【目的】

当市における歴史や文化、自然風土を始めとする観光資源などの情報を幅広く備え、来訪者へのきめ細かな観光案内により満足度の向上を図り、当市への再訪を促す。

【4年度目標】

・観光案内所利用実績及び目標 (単位：人)

	元年度	2 年度	3 年度 (12 月末現在)	4 年度 (目標)
高田駅前観光案内所	6,204	2,254	2,380	5,000
直江津駅前観光案内所	9,957	4,518	4,065	7,000
上越妙高駅観光案内所	7,244	3,220	2,789	6,000
合計	23,405	9,992	9,234	18,000

【実施内容】

・観光案内所運營業務委託料 (14,701)

各観光案内所が連携し、市内の観光名所や宿泊施設等の案内及び情報提供を行う。

案内所名	開設時間	休日
高田駅前観光案内所	午前 10 時～午後 4 時 ※観桜会会期中は午前 10 時～午後 7 時	12 月 31 日・1 月 1 日
直江津駅前観光案内所	(4 月 1 日～10 月 31 日) 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分 (11 月 1 日～3 月 31 日) 午前 10 時～午後 5 時	12 月 31 日・1 月 1 日
上越妙高駅観光案内所	午前 9 時～午後 6 時	なし

・春日山案内職員に係る人件費等 (2,031)

春日山城跡に訪れる観光客に対して、周辺施設や市内の観光名所等の案内を行う。

※案内実施期間：4 月 1 日～10 月 31 日 (午前 9 時～午後 4 時)

- ・春日山駐車場誘導業務委託料 (1,488)

混雑が予想されるゴールデンウィーク及びお盆期間中において、シャトルバスの運行及び周辺施設駐車場への誘導を行う。

- ・上越妙高駅デジタルサイネージ広告掲載料 (880)

○観光物産宣伝推進事業 18,548

【目的】

市内のイベントや県外姉妹都市のイベントにおいて、特産品の販売や観光PRを行うことにより市民の姉妹都市等への理解を深めるとともに、交流人口の拡大を図るため、物産展を開催する。

【4年度目標】

物産展開催実績及び目標

	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)
実施会場数	4会場	2会場	3会場	4会場
入込数	1,349,100人	17,206人	231,940人	1,335,900人

【実施内容】

	イベント名	開催場所	開催時期(予定)	主催者	入込数(目標)	事業費
市外会場	産業フェアしずおか	静岡市	11月下旬	静岡市	77,800人	535
市内会場	観桜会物産展(第97回)	高田城址公園	3月26日 ～ 4月10日	上越市	1,210,000人	5,286
	謙信公祭物産展	上越市春日謙信交流館	8月下旬	上越市	25,000人	2,954
	姉妹都市と上越市の観光と物産展	上越観光物産センター	10月上旬	上越市	23,100人	5,446
	観桜会物産展(第98回)	高田城址公園	令和5年 3月25日 ～ 4月9日	上越市	—	4,327

※観桜会物産展の事業費は、開催期間中の令和4年度に係る費用となる。

- ・債務負担行為の設定

第98回高田城址公園観桜会の会期を令和5年3月25日～4月9日(予定)としていることから、債務負担行為を設定するもの

- ・観光物産宣伝推進委託料全体額 9,207
- ・年度別事業費

	事業費
令和4年度	4,327
令和5年度実施分(債務負担行為設定額)	4,880
合計	9,207

○上越観光コンベンション協会補助金 38,871

【目的】

市内への誘客を促進し、交流人口の拡大を図るため、情報発信、観光ルートの開発と商品化、旅行会社等への営業活動に取り組むとともに、観光客の受入態勢を強化する。

【4年度目標】

スポーツ大会や学術会議、コンクールなどのコンベンション開催件数：12件
(元年度…9件、2年度…2件、3年度見込…9件)

【実施内容】

上越観光コンベンション協会補助金

- ・上越観光コンベンション協会の体制及び活動の充実
職員人件費、観光情報サイト「上越観光N a v i」の運営、旅行会社への観光営業活動、メディアを活用した広告宣伝活動、観光ボランティアガイドの養成に係る経費の一部を助成する。
- ・コンベンション開催誘致事業
交流人口の拡大と地域経済の活性化を促進するため、スポーツ大会や学術会議、コンクールなどの開催費の一部や、スポーツ合宿に係る宿泊費の一部を補助する取組について、事業費を支援する。
- ・旅行商品造成促進事業
旅行商品の造成を促進し市内経済の活性化を図るため、旅行会社が企画する市内宿泊又は立ち寄りを伴う募集型旅行に対し、経費の一部を補助する取組について、事業費を支援する。

○観光振興に係る諸経費 5,407

【実施内容】

- ・会計年度任用職員報酬等 (3,853)
- ・郵便料、運搬料 (261)
- ・庁用自動車維持管理経費 (812)
- ・その他消耗品等事務経費 (481)

○各区の観光振興対策事業 12,717

<安塚区> 625

【目的】

観光協会と地域・民間、近隣区との連携による事業の推進により、観光事業の活性化を図り、安塚区への来訪者の増加と経済効果の拡大を図る。

【4年度目標】

観光協会事業入込数：5,500人 (3年度見込：3,650人)

【実施内容】

- ・安塚観光協会補助金 (625)

集客イベントの開催、PR活動に対する補助

*4年度事業内容

- ・6月上旬 菱ヶ岳山開き
- ・6月～11月 信越トレイルの利用促進
- ・10月 都内物販イベントへの参加
- ・11月上旬 収穫祭事業
- ・2月下旬 安塚スノーフェスティバル (灯の回廊)
- ・その他 情報発信、観光客誘致事業、区内観光案内看板整備事業、

山のうえイベント等への参加協力

<牧区> 329

【目的】

観光関係団体と連携し、観光施設や特産品をPRするとともに都市との交流事業等に
取り組み、牧区への交流人口の増加を図る。

【4年度目標】

観光施設入込数：13,350人（3年度見込：8,000人）

【実施内容】

・消耗品費（43）

・牧ふるさと観光振興会補助金（286）

特産品の販売促進や観光のPR活動並びに農作業体験を中心とした都市と農村の
交流事業に対する補助

*4年度事業内容

・東京牧村会や観桜会など市内イベント等での牧区の特産品のPR

・そば打ち体験、しめ縄づくりなどの体験交流事業の実施

<柿崎区> 3,319

【目的】

各種イベントや海水浴・米山等のPRを通じ、柿崎区の知名度を向上させ、交流人口
の拡大を図る。

【4年度目標】

・海水浴場入込数：5,000人（3年度実績：4,060人）

・柿崎観光協会事業入込数：47,730人（3年度実績：3,180人）

【実施内容】

・米山山頂避難小屋連絡協議会負担金（428）

避難小屋等の維持管理及び山頂の環境整備に要する費用の負担金

（米山山頂避難小屋連絡協議会：柏崎市、上越市（柿崎区）、柏崎山岳会、柿崎山
岳会、柏崎観光協会、柿崎観光協会、柿崎区下牧町内会）

・柿崎観光協会補助金（2,702）

柿崎区の観光振興を担う観光協会の活動に対する補助

*4年度事業内容

・4月 2日～17日 坂田池観桜会（桜ライトアップ）

・5月 29日 米山山開き登山

・6月 20日～22日 お引き上げ商工まつり

・7月 24日 観光地引網

・8月 11日 柿崎納涼花火大会

・その他 坂田池周辺の桜の保護育成、苗木の捕植等

・山梨県北杜市（姉妹都市）の甲斐源氏まつりへの参加に係る旅費等（20）

・消耗品（5）

・庁用車の燃料費・リース料・点検修繕費用等（164）

<大潟区> 4,619

【目的】

大潟観光協会、鵜の浜温泉観光組合等の大潟区の観光関係団体と連携を図り、大潟区
の観光PRと入込数の増加を図る。

【4年度目標】

- ・鵜の浜温泉の宿泊者数：22,550人（3年度見込：20,500人）
- ・鵜の浜海水浴場・人魚館等を含めた日帰客数：119,600人（3年度見込：95,800人）

【実施内容】

- ・大潟観光協会補助金（3,019）

大潟区の観光振興の中心的な役割を担う観光協会の活動に対する補助

***4年度事業内容**

- ・大潟キャンプ場の運営、野外活動施設（アスレチック等）の管理
- ・ホームページの更新やパンフレットの作成
- ・鵜の浜海水浴場のWeb上でのライブ中継
- ・色彩音楽花火の動画配信によるPR
- ・県内外の観光協会、NEXCO、JR、えちごトキめき鉄道など関係団体との連携によるPR
- ・観光商談会への参加によるPR
- ・各旅館、ホテルへの適正なサービスの提供及び料理の質の向上などの指導助言

- ・鵜の浜温泉まつり実行委員会補助金（1,600）

鵜の浜海水浴場を会場に実施される「鵜の浜温泉まつり」、「色彩音楽花火」への補助

***4年度事業内容**

- ・8月20日 鵜の浜温泉まつり
- ・7月下旬～8月下旬（計5回予定） 色彩音楽花火

<頸城区> 900

【目的】

頸城区観光協会の事業運営を支援し、頸城区の観光資源の活用や情報発信を積極的に行い、地域の活性化と交流人口の拡大を図る。

【4年度目標】

観光協会事業入込数：3,335人（3年度見込：274人）

【実施内容】

- ・頸城区観光協会補助金（900）

頸城区の観光振興を推進する観光協会の活動に対する補助

***4年度事業内容**

- ・バスツアー、大池まつり、月見の会、芋煮会、新酒祭り、ホームページによる観光情報の発信等

<吉川区> 1,129

【目的】

区内のイベント等において、特産品販売等のPRを行い、吉川区特産品の販路拡大や交流人口の拡大を図る。

【4年度目標】

観光協会事業入込数：1,950人（3年度見込：1,300人）

【実施内容】

- ・吉川観光協会補助金（424）

吉川区の観光振興を推進する観光協会の活動に対する補助

＊4年度事業予定

- ・ 4月中旬 尾神しだれ桜まつり
 - ・ 7月中旬 吉川テラス（出店）
 - ・ 8月上旬 よしかわやったれ祭り（出店）
 - ・ 9月中旬 観光協会長杯パラグライダー大会
 - ・ 11月中旬 郷土料理を食する会（よしかわ新そばまつり）
 - ・ 3月上旬 新酒を楽しむ会
- ・ 東京都荒川区「荒川川の手まつり」での物産販売等に係る旅費、物資運搬料、バス借上料等（700）
 - ・ 消耗品（5）

<中郷区> 396

【目的】

中郷区の観光地としての魅力を高めるため、松ヶ峯の桜を始めとした区内の地域資源のPRを行い、交流人口の拡大を図る。

【4年度目標】

観光協会事業入込数：3,000人（3年度見込：630人）

【実施内容】

- ・ 中郷観光協会補助金（396）

中郷区の観光振興を推進する観光協会の活動に対する補助

＊4年度事業内容

- ・ 中郷のさくらPR観光事業（桜を楽しむ会・松ヶ峯周辺における桜のライトアップ）、二本木駅及び周辺活性化事業、夏休みわくわく体験教室及び観光関連事業への協賛、桜開花等の情報発信

<板倉区> 400

【目的】

市内の観光関係団体と連携し、板倉区のPR・情報発信を行うことにより、観光施設への誘客促進と入込数の増加を図る。

【4年度目標】

ゑしんの里記念館入込数：7,500人（3年度見込：6,500人）

【実施内容】

- ・ ゑしんの里観光公社補助金（400）

板倉区の観光のPR活動、施設の利用促進等を推進する一般財団法人ゑしんの里観光公社の活動に対する補助

＊4年度事業内容

- ・ 区内の観光関係団体との連携による観光PR活動
- ・ 地元特産品販売の実施や、キャットツアー写真展などの開催
- ・ ゑしんの里記念館の利用促進

<名立区> 1,000

【目的】

交流人口の拡大を目指す区内観光団体の活動を支援することにより、観光振興の推進を図る。

【4年度目標】

観光協会事業入込数：9,000人（3年度実績なし）

【実施内容】

・名立観光協会補助金（820）

名立区の観光振興を目指し活動している観光協会の事業に対する補助

＊4年度事業内容

- ・5月上旬 第36回鮮魚青空せり市
- ・8月上旬 第45回名立まつり
- ・9月下旬 第22回名立大鍋まつり
- ・その他 特産品販路開拓支援、名立オリジナル名刺の普及・PR等

・名立区イベント交流事業補助金（180）

友好交流を続けている長野県東御市で開催される「火のアートフェスティバル」への参加に対する補助

＊4年度事業内容

- ・カニ汁、浜焼き、塩乾物等の販売、名立太鼓連中の演奏、名立区及び上越市のPR

歳出科目（P260～P261）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
イベント推進費	136,871	120,929	15,942

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	1,656	一般財源	117,637
財産収入	12,270	報酬	332
諸収入	5,308	需用費	54
		委託料	10,820
		使用料及び賃借料	491
		負担金補助及び交付金	125,155

高田城址公園観桜会など当市を代表するイベントを各実行組織と連携して開催し、市民の地域への誇りと愛着、一体感を育み、多様な交流機会の創出と市内経済の活性化につなげる。

○観桜会等事業 82,771

【目的】

「高田城址公園観桜会」を開催することにより、市民の地域への誇りと愛着を高めるとともに、交流人口の拡大と市内経済の活性化を図る。

【4年度目標】

入込数の実績及び目標

(単位：人)

	元年度 (第94回)	2年度 (第95回)	3年度 (第96回)	4年度(目標) (第97回)
入込数	1,205,000	128,000	200,000	1,210,000

【実施内容】

<第97回高田城址公園観桜会> (50,178)

- ・開催日 令和4年3月26日(土)～令和4年4月10日(日)
- ・会場 高田城址公園
- ・事業主体 上越市、公益社団法人上越観光コンベンション協会、上越商工会議所
- ・事業内容 ぼんぼり設置、会場内・桜・西堀橋のライトアップ、花火、シャトルバス運行等を行う。
- ・事業費(開催期間中の令和4年度に係る費用)

項目	事業費	内容
委託料	4,405	露店市場管理委託料
負担金補助及び交付金	45,773	観桜会事業補助金
合計	50,178	

<第98回高田城址公園観桜会> (29,173)

- ・開催日 令和5年3月25日(土)～令和5年4月9日(日)(予定)
- ・事業費(開催期間中の令和4年度に係る費用)

項目	事業費	内容
報酬	138	会計年度職員報酬
旅費	5	会計年度職員旅費
委託料	2,995	露店市場管理委託料
負担金補助及び交付金	26,035	観桜会事業補助金
合計	29,173	

・債務負担行為の設定

第98回高田城址公園観桜会の会期を令和4年3月25日～4月9日(予定)としていることから、債務負担行為を設定するもの

・露店市場管理委託料全体額 7,396

・年度別事業費

	事業費
令和4年度	2,995
令和5年度 (債務負担行為設定額)	4,401
合計	7,396

・観桜会事業補助金全体額 71,303

・年度別事業費

	事業費
令和4年度	26,035
令和5年度 (債務負担行為設定額)	45,268
合計	71,303

<移動露店市場管理業務委託> (3,420)

・開設区域

開設区域	開催日	
八坂神社祭礼	4月27日、28日、8月27日、28日	
上越まつり	高田本町	7月24日、25日
	三・八通り	7月26日
	八坂神社	7月28日、29日
	謙信公祭	8月下旬

○上越まつり事業 47,520

【目的】

高田・直江津祇園祭及び謙信公祭を開催することにより、地域への誇りと愛着、一体感を育み、交流人口の拡大と市内経済の活性化を図る。

【4年度目標】

入込数の実績及び目標

(単位：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度(目標)
高田地区	142,000	中止	中止	80,000
直江津地区	196,000	中止	中止	120,000
春日地区	153,900	765	1,965	112,900

【実施内容】

・事業主体 上越まつり委員会(公益社団法人上越観光コンベンション協会、高田祇園まつり奉賛会、直江津祇園祭協賛会、謙信公祭協賛会)

<高田・直江津祇園祭の開催>

・開催日 7月23日(土)～29日(金)

・会場 高田、直江津地区

・事業内容 民踊流し、みこしの川下り、花火大会、御饌米奉納、小中学校マーチングパレードなどを行う。

<謙信公祭の開催>

・開催日 8月下旬

・会場 春日地区

・事業内容 狼煙上げ、みこし巡行、出陣行列、川中島合戦の再現などを行う。

○観蓮会事業 2,843

【目的】

市民が「東洋一」と語り伝えてきた歴史や、蓮に対する市民の誇りや愛着を大切にしながら、イベントとしての魅力向上を図り、交流人口の拡大と市内経済の活性化につなげる。

【4年度目標】

入込数の実績及び目標 (単位：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度 (目標)
入込数	198,000	49,000	57,000	198,000

【実施内容】

- ・開催日 7月16日(土)～8月21日(日)
- ・会場 高田城址公園ほか
- ・事業主体 高田城址公園観蓮会実行委員会
- ・事業内容
 - ・ボランティアガイドによる観光案内所の設置、お土産の販売コーナー、高田本町商店街への周遊企画など多彩な催しを行う。
 - ・ポスターやパンフレットの作成、ドローンで撮影した動画の発信等の宣伝活動を行う。

○レルヒ祭事業 3,737

【目的】

「日本スキー発祥の地・上越市」を広く発信するとともに、雪国の暮らしや文化など地域の魅力を楽しみ、伝える機会とし、冬季の交流人口の拡大につなげる。

【4年度目標】

入込数の実績及び目標 (単位：人)

	元年度	2年度	3年度	4年度 (目標)
入込数	8,100	1,900	1,482	26,000

【実施内容】

- ・開催日 令和5年2月上旬
- ・会場 金谷山スキー場、高田本町商店街ほか
- ・事業主体 レルヒ祭実行委員会
- ・事業内容
 - ・一本杖スキー、雪中行軍、現代スキーのデモンストレーションやレルヒ検定によるスキー文化の伝承を始め、雪中宝探しやスノーアクティビティ体験、ステージイベントなど、雪国文化を楽しむイベントを実施する。
 - ・高田本町商店街において食を中心とした関連イベントを実施し、金谷山と市街地との連携を図る。

提出課	施設経営管理室
-----	---------

歳出科目 (P 260～P 261)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
直江津屋台会館管理運営費	3,642	50,312	△46,670

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	285	報酬	300
財産収入	68	需用費	1,937
諸収入	60	役務費	62
一般財源	3,229	委託料	1,287
		使用料及び賃借料	56

【目的】

直江津祇園祭の屋台を保管するとともに、貸館施設としての利用促進や観光情報の発信を行い、伝統文化の保存と地域の活性化を図る。

【4年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)	4年度 (目標)
利用者数	9,684	2,836	5,489	3,500

【実施内容】

- ・報酬 300 (会計年度任用職員報酬)
- ・需用費 1,937 (電気料金、ガス料金、水道料金、営繕修繕料)
- ・役務費 62 (電話料)
- ・委託料 1,287 (警備、電気保安、建築設備定期点検等)
- ・使用料及び賃借料 56 (エアコン借上料、下水道使用料)

【施設の概要】

- ・所在地 西本町4丁目18番12号
- ・設置 平成6年度
- ・構造 鉄骨造1階建て
- ・施設内容 イベントホール、広場、保存・展示庫
- ・面積 延床1,489.26㎡
- ・管理 直営
- ・利用形態 直江津祇園祭屋台の保管、貸館施設

歳出科目（P260～P261）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
金谷山公園管理運営費	89,272	47,371	41,901

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	2,933	需用費	28,854
諸収入	1,006	役務費	153
一般財源	85,333	委託料	30,029
		使用料及び賃借料	2,015
		工事請負費	25,380
		備品購入費	2,468

【目的】

恵まれた自然環境の中で健全な余暇活動の場を提供できるよう、金谷山スキー場や上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）を含む金谷山公園を適切に管理し、誘客促進を図る。

【4年度目標】

利用実績及び目標

（単位：人）

年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)	4年度 (目標)
ボブスレー利用者数	15,035	5,984	9,140	9,600
スキーリフト利用者数	0	3,085	0	3,100
BMX場コース利用者数	1,841	452	1,506	1,600
合計	16,876	9,521	10,646	14,300

【実施内容】

- ・旅費 6（職員出張旅費）
- ・需用費 28,854（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）
- ・役務費 153（ゲレンデ整備車賠償責任保険料等）
- ・委託料 30,029（施設管理、索道及びボブスレー業務）
- ・使用料及び賃借料 2,015（圧雪車借上料、土地借上料等）
- ・工事請負費 25,380（第2リフト主減速機及び原動滑車更新工事等）
- ・原材料費 201（諸資材費）
- ・備品購入費 2,468（草刈機、スノーモービル）
- ・負担金補助及び交付金 166（北陸信越索道協会負担金等）

【施設の概要】

○金谷山スキー場

- ・所在地 大字大貫 595 番地 2
- ・設置 昭和 56 年度
- ・施設内容 コース：4 本、最長滑走距離 780m
リフト：シングル 1 基
管理棟：鉄筋コンクリート造 2 階建て 58.00 m²
監視所：木造 1 階建て 6.55 m²、木造 1 階建て 3.27 m²

公衆トイレ：鉄筋コンクリート造 1 階建て 21.38 m²、
木造 1 階建て 28.23 m²

- ・営業期間 1月中旬～3月中旬（シーズン中は無休）
- ・管 理 直営（業務委託）
- ・利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

○金谷山スーパーボブスレー

- ・所在地 大字大貫 595 番地 2
- ・設 置 昭和 56 年度
- ・施設内容 コース：1 本、延長 450m
- ・営業期間 4月下旬～10月31日の土曜・日曜・祝日、夏休み期間
- ・管 理 直営（業務委託）
- ・利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

○上越市BMX場

- ・所在地 大字大貫 698 番地 1
- ・設 置 平成 10 年度
- ・施設内容 コース：延長約 350m
休憩施設：鉄筋コンクリート造 2 階建て 26.39 m²
公衆トイレ：木造 1 階建て 34.78 m²
- ・営業期間 4月下旬～10月31日の土曜・日曜・祝日
- ・管 理 直営（業務委託）
- ・利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

歳出科目（P260～P261）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
雪国文化村リゾート推進事業	90,263	126,200	△35,937

主な財源		主な経費	
市債	7,100	需用費	61,395
一般財源	83,163	工事請負費	20,350
		役務費	431
		備品購入費	5,783
		使用料及び賃借料	2,304

【目的】

スキーを始め年間を通じて野外スポーツ等を楽しめる観光拠点として、安全安心の利用を確保するための適切な施設の維持・整備を行う。

【4年度目標】

- ・雪だるま高原施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。
- ・今後の施設の在り方を将来計画として策定する。

【実施内容】

- ・需用費 61,395（リフト機器部品購入、圧雪車基本整備・修繕、一般修繕等）
- ・役務費 431（Wi-Fi回線使用料）
- ・使用料及び賃借料 2,304（AED機器借上、除雪重機借上）
- ・工事請負費 20,350（第1クワッドリフト原動機（主モーター）整備工事、第1クワッドリフト緊張滑車・誘導滑車軸整備工事）
- ・備品購入費 5,783（車載無線機、乗用草刈機、作業用軽トラック購入）

【施設の概要】

- ・所在地 安塚区須川地内
- ・設置 平成2年度
- ・施設内容
 - スキー場 ゲレンデ面積 48ha
 - 索道施設 ゴンドラ：1基（休止：令和2年度～）
リフト：4基（うち第4ペアリフト休止：平成28年度～）
 - 宿泊施設 コテージ：20棟（管理棟含む）50室
久比岐野：和室7室、洋室8室（宿泊休止：令和2年度～、
日帰り温泉開始：令和2年度）
 - 体験施設 ふれあい昆虫館（休止：令和2年度～）
棚田動植物公園：面積2ha
- ・管理 指定管理
- ・利用形態 日帰り及び宿泊施設

歳出科目 (P260～P261)	7款1項3目	観光交流費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ管理運営費	2,379	2,601	△222

主な財源		主な経費	
一般財源	2,379	需用費	351
		役務費	9
		委託料	1,696
		使用料及び賃借料	323

【目的】

休止施設を適切に維持管理するとともに、霧ヶ岳登山者等の屋外トイレ、駐車場として有効利用する。

【実施内容】

- ・需用費 351 (消耗品費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役務費 9 (浄化槽検査手数料)
- ・委託料 1,696 (施設管理、浄化槽維持管理、除排雪作業等)
- ・使用料及び賃借料 323 (土地借上料等)

【施設の概要】

- ・所在地 浦川原区小谷島 1217 番地 1
- ・設置 本館：平成 4 年度
新館：平成 5 年度
- ・構造 本館：木造一部鉄筋コンクリート造 地上 1 階地下 1 階建て
新館：木造 2 階建て
- ・施設内容 本館、新館 ※平成 29 年度から休止
その他附属施設：遊歩道及びトイレ棟
- ・面積 延床 1,612.5 m² (本館 1,260.0 m²、新館 352.5 m²)
- ・管理 直営
- ・開設期間 遊歩道及びトイレ棟：4 月下旬～11 月中旬
- ・利用形態 公園施設

歳出科目（P260～P263）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
大島庄屋の家管理運営費	23,623	22,064	1,559

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3,060	一般財源	6,442
諸収入	10,321	需用費	11,036
市債	3,800	役務費	702
		委託料	11,414
		使用料及び賃借料	357
		負担金	32
		公課費	48

【目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、地域経済の活性化を図る。

【4年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)	4年度 (目標)
利用者数	3,611	1,011	756	3,100
うち宿泊者数	1,235	194	72	1,000
うち日帰り者数	2,376	817	684	2,100

【実施内容】

- ・旅費 34 (営業活動旅費)
- ・需用費 11,036 (消耗品費、燃料費、電気料金、水道料金、修繕料、賄材料費等)
- ・役務費 702 (電話料、車検手数料、水質検査手数料、クリーニング手数料等)
- ・委託料 11,414 (施設管理運営、総合污水处理施設維持管理等)
- ・使用料及び賃借料 357 (複写機借上料、機械借上料、清掃用具借上料等)
- ・負担金補助及び交付金 32 (食品衛生協会負担金等)
- ・公課費 48 (自動車重量税)

【施設の概要】

- ・所在地 大島区田麦 1096 番地 2
- ・設置 宿泊棟：平成 3 年度 体験棟：平成 5 年度
- ・構造 宿泊棟：鉄筋コンクリート造 2 階建て 体験棟：木造 2 階建て
- ・施設内容 宿泊棟：和室 7 室、食堂、浴室 2 室
体験棟：調理体験室、広間、座敷、奥座敷
- ・面積 延床 967.07 m² (宿泊棟 711.56 m²、体験棟 255.51 m²)
- ・管理 直営 (業務委託)
- ・利用形態 日帰り及び宿泊施設

歳出科目 (P 262～P 263)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費	2,717	2,806	△89

主な財源		主な経費	
諸収入	432	需用費	952
市債	1,300	役務費	58
一般財源	985	委託料	1,688
		使用料及び賃借料	19

【目的】

豊かな自然と田舎の生活文化に触れる憩いの場を提供することにより、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

【4年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)	4年度 (目標)
利用者数	7,276	4,884	5,584	6,000

【実施内容】

- ・需用費 952 (消耗品費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役務費 58 (電話料、浄化槽検査手数料、消火器入替手数料)
- ・委託料 1,688 (施設管理、浄化槽維持管理、消防設備点検、建築設備定期点検)
- ・使用料及び賃借料 19 (内線電話配線共架料、テレビ受信料)

※平成 27 年度から「ふるさとアピール館」を休止しているが、地元団体から、イベントや地域の交流事業などでの施設使用希望があり、平成 30 年度から施設の一部の使用を許可している。

【施設の概要】

- ・所在地 牧区池舟 2 番地
- ・設置 昭和 53 年度
- ・施設内容 ふるさとの家：木造 2 階建て
ふるさとアピール館：木造 2 階建て ※平成 27 年度から休止
- ・面積 延床 631.81 m² (ふるさとの家 214.5 m²、ふるさとアピール館 417.31 m²)
- ・管理 直営 (業務委託)
- ・利用形態 体験研修施設

歳出科目 (P 262～P 263)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
牧ふれあい体験交流施設管理運営費	2,904	3,049	△145

主な財源		主な経費	
諸収入	82	需用費	1,101
市債	1,200	役務費	48
一般財源	1,622	委託料	1,516
		使用料及び賃借料	239

【目的】

地域の特性及び資源を活用した体験型観光施設として、都市部の住民との交流促進を図る。

【4年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)	4年度 (目標)
利用者数	2,315	725	813	1,000

【実施内容】

- ・需用費 1,101 (消耗品費、燃料費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役務費 48 (電話料、消火器入替手数料)
- ・委託料 1,516 (施設管理、ボイラー保守点検、消防設備点検、建築設備定期点検)
- ・使用料及び賃借料 239 (除雪車借上料、LPガス供給設備借上料、集落排水使用料、テレビ受信料)

【施設の概要】

- ・所在地 牧区原 991 番地
- ・設置 平成 11 年度
- ・構造 木造 2 階建て
- ・施設内容 研修室 1 室、ミーティングルーム 1 室、体験調理室・実習室 1 室、ホール 1 室、ふれあい広場
- ・面積 延床 568.34 m²
- ・管理 直営 (業務委託)
- ・利用形態 研修集会施設

歳出科目 (P 262～P 263)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費	9,975	9,798	177

主な財源			主な経費				
使用料及び手数料	10	一般財源	9,652	需用費	4,659	使用料及び賃借料	197
財産収入	8			役務費	82	工事請負費	190
諸収入	305			委託料	4,765	原材料費	35

【目的】

道の駅として施設を訪れる観光客等の「休憩場所の確保」と「利用しやすい環境整備」を行うとともに、地域の特産品や観光情報を発信することにより、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

【4年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)	4年度 (目標)
利用者数	80,703	72,040	66,195	80,000

【実施内容】

- ・需用費 4,659 (消耗品費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役務費 82 (Wi-Fi回線等使用料)
- ・委託料 4,765 (施設管理、消防設備点検、自動ドア保守点検、ホームページ作成)
- ・使用料及び賃借料 197 (農業集落排水使用料)
- ・工事請負費 190 (トイレ前車止め設置工事)
- ・原材料費 35 (諸資材)
- ・負担金補助及び交付金 47 (道の駅連絡会負担金)

【施設の概要】

- ・所在地 吉川区杜氏の郷1番地
- ・設置 平成15年度
- ・施設内容 情報発信施設：木造1階建て 218.14 m²
公衆トイレ：木造1階建て 69.71 m²
駐車場 265台
- ・管理 直営(業務委託)
- ・利用形態 休憩施設等

歳出科目 (P 262～P 265)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
坊ヶ池周辺施設管理運営費	3,911	3,437	474

主な財源		主な経費	
諸収入	2,184	需用費	1,350
一般財源	1,727	役務費	65
		委託料	2,103
		使用料及び賃借料	393

【目的】

坊ヶ池湖畔公園を適切に維持管理するとともに、地元団体が、休止施設を交流事業などで安全に使用できる状態を確保する。

【実施内容】

- ・需用費 1,350 (消耗品費、燃料費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役務費 65 (電話料、浄化槽検査手数料)
- ・委託料 2,103 (消防設備点検、屋根雪等除雪、浄化槽維持管理等)
- ・使用料及び賃借料 393 (除雪重機借上料、敷地借上料)

※山荘京ヶ岳、フォークハウス湖畔は、平成 29 年度から休止しているが、地元団体から、イベントや地域の交流事業などでの施設使用希望があり、山荘京ヶ岳新館の一部 (大広間・厨房) の使用を許可している。

【施設の概要】

- ・所在地 清里区青柳 3438 番地
- ・設置 山荘京ヶ岳 本館：平成 2 年度
山荘京ヶ岳 新館：平成 6 年度
フォークハウス湖畔：平成元年度
- ・施設内容 山荘京ヶ岳 本館：木造 2 階建て ※平成 29 年度から休止
山荘京ヶ岳 新館：木造一部鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 1 階建て
※平成 29 年度から休止
フォークハウス湖畔：鉄筋コンクリート造 3 階建て
※平成 29 年度から休止
坊ヶ池湖畔公園 炊事場・トイレ
- ・面積 延床 1,903.39 m² (本館 499.44 m²、新館 1,036.05 m²、湖畔 367.9 m²)
- ・管理 直営
- ・開設期間 坊ヶ池湖畔公園 4 月下旬～10 月 31 日
- ・利用形態 公園施設

歳出科目 (P264～P265)	7款1項3目	観光交流費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
シーサイドパーク名立管理運営費	21,160	11,018	10,142

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3,809	報酬	6,987
一般財源	16,838	使用料及び賃借料	644
県支出金	500	需用費	2,040
諸収入	13	委託料	846
		工事請負費	7,329
		備品購入費	2,854

【目的】

名立区の自然をいかした余暇活動や心身の健康の保持及び増進の場として、当施設を適切に維持管理し、周辺施設を含めた利用客の増加を促す。

【4年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度	4年度 (目標)
利用者数	14,755	8,313	13,639	14,000

【実施内容】

- ・報酬 6,987 (会計年度任用職員報酬)
- ・旅費 230 (会計年度任用職員費用弁償)
- ・需用費 2,040 (消耗品費、燃料費、電気料金、水道料金、修繕料)
- ・役務費 179 (電話料、浄化槽検査、車検基本点検料等)
- ・委託料 846 (浄化槽維持管理、受水槽清掃点検、ビッグボブスレー点検等)
- ・使用料及び賃借料 644 (土地借上料、券売機借上料、ユニットハウス借上料)
- ・工事請負費 7,329 (パーゴラデッキ解体工事、フェンス新設工事等)
- ・備品購入費 2,854 (自走式草刈機購入、ボブスレースレッド購入)
- ・公課費 51 (自動車重量税)

【施設の概要】

- ・所在地 名立区名立小泊 798 番地 1
- ・設置 平成 5 年度
- ・施設内容
 - ビッグボブスレー：全長 470m ローラースライダー：全長 190m
 - アスレチック：木製 15 基 芝生広場：1,200 m²
 - 展望台：木造地上 2 階地下 1 階建て 299.42 m²
 - バーベキューハウス：木造 1 階建て 78.67 m²
 - パーゴラデッキ付休憩棟：木造 1 階建て 216.37 m²
 - 管理棟：木造 1 階建て 132.2 m² 等
- ・面積 約 35ha
- ・営業期間 4 月中旬～10 月 31 日の土曜・日曜・祝日
※夏休みは金～日曜・祝日。ただし、お盆期間の一週間は無休
- ・管理 直営
- ・利用形態 公園施設

歳出科目（P264～P265）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
光ヶ原高原観光総合施設管理運営費	3,064	9,668	△6,604

主な財源		主な経費	
諸収入	218	需用費	926
一般財源	2,846	使用料及び賃借料	719
		役務費	184
		委託料	1,204
		備品購入費	31

【目的】

光ヶ原高原センターや周辺施設を行政財産として適切に維持管理するとともに、地元団体が、それらの施設を有効活用し、光ヶ原高原、関田山脈の魅力を伝えることができる状態を確保する。

【実施内容】

- ・需用費 926（消耗品費、電気料金、修繕料）
- ・役務費 184（電話料、浄化槽検査手数料、水質検査手数料）
- ・委託料 1,204（除草、浄化槽管理、消防設備等点検等）
- ・使用料及び賃借料 719（用水使用料、施設用地借上料）
- ・備品購入費 31（信越トレイル関田峠の看板作成費）

提出課	観光交流推進課
-----	---------

歳出科目 (P264～P267)	7款1項3目	観光交流費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
観光企画費	58,993	62,996	△4,003

主な財源		主な経費	
国庫支出金	812	旅費	1,285
諸収入	20	需用費	9,358
一般財源	58,161	役務費	794
		委託料	31,188
		負担金補助及び交付金	
			15,400

上越市観光交流ビジョンに掲げた将来のありたい姿を、市民や事業者などと共有しながら、観光PRや旅行者の受入環境の整備など、様々な取組を一体となって進めることにより、一年を通じて楽しい交流が生まれる観光地域づくりを推進する。

○観光地域づくり実践事業 1,625

【目的】

上越市観光交流ビジョンの趣旨と実践の更なる普及に努め、来訪者との交流を楽しむことのできる観光地域づくりを進める。

【4年度目標】

当市の観光をけん引する担い手による観光コンテンツづくりやSNSを活用した情報発信を推進し、新たな取組への展開を図る。

【実施内容】

- ・当市の観光資源をいかし、ウィズ・アフターコロナのトレンドを踏まえた事業や、担い手同志の連携による事業の創出・拡充を推進するため、観光地域づくり実践未来塾において、観光コンテンツづくりに特化した講座を実施する。
- ・当市の魅力を対外的に発信するため、「#上越もよう」の投稿写真を観光PR素材として積極的に活用するとともに、投稿者や閲覧者の裾野を更に広げるため、「#上越もよう」を周知する名刺カードを作成し、市内飲食店や宿泊施設等に配布する。

○地域活性化起業人交流プログラム活用事業 5,600

【目的】

国の地域活性化起業人制度を活用し、当市の魅力や価値の向上を図るとともに、上越市観光交流ビジョンに基づいた取組を推進する。

【4年度目標】

令和3年度に引き続き観光関連企業から職員の派遣を受け、地域資源をいかしたプログラム開発やプロモーションの強化、マーケティング技術の普及を図る。

【実施内容】

- ・株式会社阪急交通社から職員の派遣を受け、上越観光コンベンション協会と連携し、市内事業者や団体等による地域資源をいかした旅行商品などのプログラム開発や派遣元の人脈をいかしたプロモーションの強化、データなどを活用したマーケティング技術の検討や普及に向けた取組を行う。

○観光営業事業 1,870

【目的】

姉妹都市、交流都市及び広域連携など自治体間の協力や、旅行事業者などとの連携による観光PRを通じて誘客を促進し、地域経済への波及効果を高める。

【4年度目標】

旅行事業者への商品造成に向けた営業活動の実施と、コロナ禍の状況を踏まえ、近隣地域を中心に当市の歴史・文化や観光資源を積極的に発信し、年間を通じた誘客促進を図る。

【実施内容】

公益社団法人上越観光コンベンション協会及び市内事業者と連携し、当市への観光誘客に向けた取組を行う。

- (1) 首都圏・関西圏・近隣地域（県内、長野県等）での観光営業活動及び姉妹都市や北陸新幹線沿線自治体等での観光PR活動等（933）
 - ・県観光協会等が主催する観光商談会や観光PRイベントへの参加
 - ・関西圏、近隣地域の旅行事業者等への営業活動
 - ・姉妹都市や北陸新幹線沿線都市、集客プロモーションパートナー都市などで開催される集客イベントでの観光PR活動
- (2) 観桜会における観光PR活動（306）
 - ・JR東日本が運行する臨時列車「高田お花見号」利用客への観光PR
 - ・近隣市や北陸新幹線沿線都市との連携による観光PRブースの設置
- (3) 上越妙高駅新幹線改札前PRスペースでの情報発信（168）
 - ・JR東日本が情報発信拠点として整備したスペースを活用し、駅利用者に対し当市の集客イベントや観光素材をPR
- (4) 観光PR用品の購入及びその他事業関係費（463）

○各種団体等との連携事業 5,300

【目的】

県内外の自治体や観光事業者と連携し、情報収集や共同事業を実施することにより誘客を促進する。

【4年度目標】

近隣地域を対象とした観光需要が拡大傾向にあることに加え、アフターコロナにおける観光産業の動向を見据え、県内外の関係自治体や観光事業者と連携し、より効果的な情報発信や域内周遊の促進に向けた取組を進める。

【実施内容】

- (1) ほくほく線沿線地域振興連絡協議会負担金（1,213）
 - ・団体の目的
ほくほく線の利用促進を図ることにより、沿線地域の発展に寄与する。
 - ・団体の活動
沿線地域への誘客に向けた営業活動、沿線情報誌の発行（年3回）、Facebookの運用、案内看板の維持管理など
- (2) 新潟県観光協会負担金（1,692）
 - ・団体の目的
観光に関する調査研究、観光情報の提供、誘客宣伝活動等の観光振興に関する事業を行い、新潟県経済の持続的な発展と県民が誇りと愛着を持つことができる活力に満ちた地域社会づくりの実現に寄与する。
 - ・団体の活動
観光に関する調査研究、ホームページによる観光情報の提供、商談会や観光PRイ

ベントの開催など

(3) 新潟県国際観光テーマ地区推進協議会負担金（131）

・団体の目的

新潟県内への外国人旅行者誘致に必要な事業を行う。

・団体の活動

広域誘客活動推進事業、旅行商品造成事業、受入態勢整備事業など

(4) にいがたスキー100年委員会負担金（166）

・団体の目的

スキー場のイメージアップを図るために必要な情報を発信することにより、県内のスキー観光の振興と地域の活性化に寄与する。

・団体の活動

スキーに係る基礎情報の整備、各種メディアを活用した情報収集・情報発信など

(5) 上信越ふるさと街道協議会負担金（10）

・団体の目的

長野県・群馬県・新潟県にまたがる各街道沿線の自治体、観光協会、商工会議所、商工会との連帯・協調により、地域の活力の造成と振興を図る。

・団体の活動

街道及び関係地域の宣伝、関係地域の交流推進など

(6) 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議負担金（400）

・団体の目的

北陸新幹線の延伸を見据え、停車駅（延伸後の停車駅を含む）の13都市（上越市、金沢市、高岡市、富山市、黒部市、糸魚川市、飯山市、長野市、上田市、佐久市、高崎市、小松市、加賀市）が有する観光資源を有効に活用し、観光の広域的振興を図ることにより、当該都市間の交流人口の拡大及びまちの活性化に寄与する。

・団体の活動

構成都市間における観光を通じた交流を図るための事業、国内外からの誘客推進事業、広域観光の振興を図るための共同研究など

(7) 日本さくらの会負担金（10）

・団体の目的

国花である「桜」を愛する心を広く国民に呼びかけ、その恒久的な保存、育成及び普及の方策を研究し、「桜」による国土の美化や国際親善に寄与する。

・団体の活動

桜の愛護、保全、普及活動や桜の名木、巨木、名所の顕彰と保護など

[新](8) 新潟県観光ファンづくり推進協議会負担金（766）

・団体の目的

本県観光地への来訪経験者や興味関心者へのプロモーション、ファンから得られるデータの分析結果の共有、データに基づいた誘客施策を展開し、繰り返し訪れてもらえる持続可能な観光地域づくりを目指す。

・団体の活動

ファンクラブの管理・運営に関する事業、新規ファンの獲得に関する事業、ファンへのアンケート調査に関する事業、データ分析に関する事業など

(9) 北アルプス日本海広域観光連携会議負担金（630）

・団体の目的

北陸新幹線糸魚川駅を中心とした周辺市町村（上越市、糸魚川市、富山県朝日町、長野県小谷村・白馬村・大町市）及び関係団体との広域観光連携を推進する。

- ・団体の活動
周遊型広域観光商品の開発と販売促進活動、連携した情報発信など
- (10) 関東観光広域連携事業推進協議会負担金 (100)
 - ・団体の目的
関東地域（新潟県、長野県、福島県を含む）における外国人旅行者の受入環境整備の推進及び関東の国際的な観光認知度の向上を図る。
 - ・団体の活動
外国人旅行者の誘客のための各種取組（動態調査、モニターツアー、プロモーション事業、情報発信、インバウンドセミナー等）
- (11) 新潟県スキー観光産業振興協議会負担金 (2)
 - ・団体の目的
県内のスキー場及び関連する観光産業を振興することにより、地域経済の発展に寄与する。
 - ・団体の活動
県内のスキーに関する動画配信や各種イベントでの情報発信、県内スキー場でのスキースクールの実施など
- (12) 会議等出席旅費等 (180)

○上越地域連携事業 2,500

【目的】

上越地域 3 市（上越市、糸魚川市、妙高市）と県が連携し、上越地域の魅力の発信やそれらを活用した広域連携事業の実施により、観光交流人口の拡大を図る。

【4年度目標】

コロナ禍における旅行ニーズの変化を踏まえ、当地域内における魅力ある観光資源を組み合わせ、関係の深い 3 市による広域周遊観光に向けた事業実施及び情報発信を通し、誘客を促進する。

【実施内容】

- (1) 上越・妙高広域観光パンフレット「上越・妙高」作成委託料 (1,000)
 - ・県内外へ上越市、妙高市の観光スポット等の魅力を発信するため、広域観光パンフレット「上越・妙高」を作成する。
- [新](2) 「上越地域SEA TO SUMMIT」の開催 (1,500)
 - ・上越・妙高・糸魚川エリアの広域観光ブランドの確立を図るため、アウトドアブランドの株式会社モンベルによる環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」の開催に向け、実行委員会に参画するとともに、負担金を支出する。

○佐渡広域観光誘客事業 2,505

【目的】

佐渡市・上越市が連携して、両市を周遊し観光客を増加させることにより、小木・直江津航路の活性化と佐渡市・上越市の観光振興を図る。

【4年度目標】

「佐渡島（さど）の金山」の世界文化遺産登録を見据え、佐渡市及び当市内の観光関係団体等と連携し、情報発信や周遊観光の促進に向けた取組を強化する。

【実施内容】

- [充](1) 佐渡市・上越市観光・航路連携協議会負担金 (2,460)
 - ・県外からの誘客促進を図るため、観光キャラバンに参加し、両市の観光プロモーションを行う。

- ・ 航路の利用促進と両市の観光振興を図るため、小木・直江津航路を利用し、両市に立ち寄り又は宿泊を伴う旅行商品を造成する旅行事業者に対し、補助金を交付する。
- (2) 会議等出席旅費 (36)
 - ・ 佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議総会、「佐渡金銀山」保存・活用行動計画推進会議など
- (3) その他 (9)
 - ・ 有料道路使用料

○観光宣伝物作成事業 4,787

【目的】

観光に関する情報を効果的に発信し、当市を広くPRすることにより誘客促進を図る。

【4年度目標】

市内の魅力ある観光資源をより効果的に発信するため、紙媒体に加え、上越観光Naviやけんけんず公式SNS等のWeb媒体の特徴をいかし、より時宜を得た情報発信を行うことで誘客促進を図る。

【実施内容】

(1) 各種パンフレット等の作成 (4,092)

名称	内容	作成数	予算額
総合パンフレット [増刷]	当市の観光情報を提供し、各地域への周遊を促す内容の総合パンフレット	30,000部	3,300
春日山城跡めぐり [増刷]	春日山城跡及び周辺を紹介し、城跡の散策を促す内容のパンフレット	30,000部	792

(2) 画像編集ソフトの購入 (62)

- ・ 観光宣伝に必要な素材の編集に使用するためのソフトウェアを一年間使用する権利を購入する。

(3) JR首都圏主要駅における掲出用ポスターの作成 (440)

- ・ JR首都圏主要駅に、当市の観光ポスターを掲出することで駅利用者へのイベント情報の発信及び旅行の動機付けを図る。

(4) 上田市・上越市桜まつりポスター作成委託 (193)

- ・ 姉妹都市の上田市と連携して、ポスターを作成し、相互送客を促進する。

○観光インフォメーション利用環境整備事業 55

【目的】

より多くの方からの来訪及び市内周遊を促進するため、当市の観光情報サイト「上越観光Navi」などにおいて、イベント告知や季節に応じた観光素材、体験プログラムなどの情報を分かりやすく発信する。

【4年度目標】

四季の見どころや体験プログラムなどについて、当市への訪問が喚起されるような魅力的な画像・映像を多く用いて紹介するとともに、YouTubeに投稿した動画などについて他のSNSにおいても活用し、効果的かつ訴求力のある情報発信を目指す。

【実施内容】

- ・ 常に最新の情報収集に努め、見やすく伝わりやすい内容に整理した情報発信を行うとともに、適時、閲覧状況进行分析しながら閲覧者の目線に立った内容となるよう工夫を凝らす。
- ・ 外国人旅行者向けに、自動翻訳機能の活用と合わせ、専門家の翻訳による正確な観光

情報を発信する。

○謙信公ゆかりの地振興事業 2,000

【目的】

春日山城と上杉謙信公を中心とした上越市の魅力をより一層全国に発信し、誘客を促進するとともに、市民の地域に対する愛着の高揚を促す。

【4年度目標】

企画展入込数の実績及び目標				(単位：人)
	元年度	2年度	3年度 (見込)	4年度 (目標)
入込数	33,312	20,298	22,900	23,000

【実施内容】

- ・「越後上越 謙信公と春日山城展」の開催
会場：上越市埋蔵文化財センター
時期：通年
内容：春日山観光の拠点として、謙信公の生涯を紹介するパネルやゆかりの品の展示のほか、春日山城の全容が分かるジオラマや映像などを活用した展示

[充]・宣伝広告等

上越観光N a v i等を活用した宣伝活動、誘導看板設置のほか、展示物の解説チラシ等の作成・配布を行う。

○「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業 25,938

【目的】

戦国時代の名将・上杉謙信公を始めとした当市にゆかりのある武将等に扮したスタッフが、観光客の出迎えや観光PRを行い誘客につなげるとともに、謙信公に関する伝承・啓発活動を行うことにより、謙信公の遺徳を後世に伝える。

【4年度目標】

来訪者に対する観光PR等に加え、Y o u T u b eや他のSNSなどを通じて幅広く当市の魅力を発信し、知名度向上と誘客促進を図る。

【実施内容】

- ・春日山城跡や上越市埋蔵文化財センター等において、観光案内や写真撮影などのもてなし活動を行う。
- ・市内外での観光PRやイベント出演などに加え、SNSや動画投稿を通じて、「謙信公のふるさと・上越市」及び観光情報を全国に発信する。

○灯の回廊事業 4,994

【目的】

市民の地域への誇りと愛着、一体感を醸成するとともに冬季の誘客を促進するため、「灯の回廊」の開催を支援し、上越ならではの冬のイベントとして発信する。

【4年度目標】

入込数の実績及び目標				(単位：人)
	元年度	2年度	3年度 (見込)	4年度 (目標)
入込数	9,220	7,970	12,000	28,000

【実施内容】

- ・当市の冬の一大イベントとして、安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高士区、名立区で

行われる雪灯りイベントを一体的にPRする。

○インバウンド推進事業 1,730

【目的】

外国人旅行者の誘客に向けて、効果的で質の高い情報を発信するとともに、受入態勢の整備を推進することにより、市内事業者や市民の地域への誇りや愛着の醸成及び地域経済の活性化を図る。

【4年度目標】

アフターコロナにおける外国人旅行者の誘客に向けて、コロナ禍のトレンドに沿った効果的で質の高い情報発信と、インバウンド回復時に向けた受入態勢を整備する。

【実施内容】

- (1) 上越市インバウンド推進事業補助金 (1,000)
 - ・市内の観光事業者が実施する外国人旅行者の受入態勢の整備などの事業に要する経費の一部を補助する。
- (2) 展示会等出展 (470)
 - ・国内最大規模の展示会である「VISIT JAPAN トラベルマート」及び駐日外交団等に当市の観光情報を発信する「地域の魅力発信支援セミナー」へ参加し、上越市をPRする。
- (3) その他事業関係費 (260)

○信越トレイル利用促進事業 89

【目的】

豊かな自然や文化・歴史が色濃く残る信越トレイルコースを活用し、市内への誘客を図る。

【4年度目標】

信越トレイルの測定可能な箇所での利用者数の実績及び目標 (単位：人)

	元年度	2年度	3年度 (見込)	4年度 (目標)
利用者数	3,952	3,893	3,529	6,000

【実施内容】

- ・信越トレイルコースと市内観光施設の利用者増加につなげるため、上越観光Naviによる情報発信やパンフレットを設置するなどPRを行う。

歳出科目（P266～P267）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
国際友好交流促進事業	2,536	2,347	189

主な財源		主な経費	
一般財源	2,536	報償費	221
		旅費	191
		需用費	372
		役務費	477
		委託料	1,218
		使用料及び賃借料	57

【目的】

海外の姉妹・友好都市との幅広い分野での相互交流により友好親善を促進するとともに、地域社会の活性化に寄与する。

【4年度目標】

韓国・浦項市の浦項市立交響楽団の訪問受入れや中国・大連市旅順口区への訪問を通じ、交流の絆を深める。また、新たな交流の在り方として、オーストラリア・カウラ市とオンライン交流を実施するとともに、令和5年度の友好都市提携20周年記念事業の内容を協議する。

【実施内容】

- ・韓国・浦項市からの浦項市立交響楽団の受入れ
- ・中国・大連市旅順口区への訪問
- ・オーストラリア・カウラ市とのオンライン交流

※令和3年度の事業名は友好交流促進事業

歳出科目（P266～P267）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
越後田舎体験推進事業	2,629	2,731	△102

主な財源		主な経費	
一般財源	2,629	旅費	12
		需用費	567
		委託料	608
		使用料及び賃借料	126
		負担金補助及び交付金	1,308

【目的】

当市の豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしをいかした体験型観光を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

【4年度目標】

情報発信の強化などにより営業活動の充実を図り、受入数40団体以上、3,000人以上、6,000泊以上とする。また、新型コロナウイルス感染症の影響により変化したニーズに対応するため、既存コンテンツの磨き上げや新たなコンテンツの造成など、受入態勢を整備する。

【実施内容】

- (1) 受入態勢の維持・強化に係る取組（272）
 - ・受入地域開拓のための周知、勧誘活動、新たなコンテンツの造成
- (2) 各種営業活動、研修会等への参加（620）
 - ・首都圏、関西圏域、県内他市、近隣県の旅行代理店や学校等への営業活動
- (3) 越後田舎体験推進協議会負担金等の支出
 - ・市負担金（1,285）
 - ※上越市及び十日町市で負担金を支出（十日町市：1,448）
 - ・会員施設（大島庄屋の家）負担金（10）
 - ・新潟県グリーンツーリズム推進協議会参加費負担金（13）
- (4) 越後田舎体験事業での受入れ等に係る消耗品の購入（429）

<越後田舎体験受入数の推移>

	元年度	2年度	3年度（見込み）	4年度（目標）
団体数	40	15	37	40
人数（人）	3,265	1,004	2,680	3,000
宿泊数（泊）	6,502	339	2,013	6,000

提出課	施設経営管理室
-----	---------

歳出科目 (P 266～P 267)	7 款 1 項 3 目	観光交流費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
観光施設等整備事業	128,599	120,327	8,272

主な財源				主な経費			
使用料及び手数料	532	繰入金	11,891	需用費	21,509	使用料及び賃借料	8,317
県支出金	4,861	諸収入	5,296	役務費	6,610	工事請負費	13,386
財産収入	5	一般財源	106,014	委託料	72,745		

【目的】

市内観光施設を適切に維持管理することにより、当市の豊かな自然と歴史文化に触れる場を提供し、観光誘客と地域振興を図る。

【4年度目標】

各公園や海水浴場等の観光施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。

【実施内容】

観光施設の適切な維持管理を行い、利用者の安全・安心の確保及び満足度の向上を図る。

[合併前上越市] 73,188

<主な維持管理施設>

春日山城跡（駐車場、公衆トイレ）、愛の風公園（公衆トイレ）、愛宕谷公園（公衆トイレ）、親鸞聖人上陸の地（駐車場）、鏡ヶ池公園、前島記念公園、芳沢記念公園（記念館）、寺町駐車場、寺町3丁目公衆トイレ、国分寺駐車場、居多神社前駐車場（公衆トイレ）、南高田駅駐輪場、林泉寺駐車場（公衆トイレ）、浄興寺公衆トイレ、高田駅前公衆トイレ、直江津駅前公衆トイレ、西ヶ窪浜公衆トイレ、心のふるさと道、南葉山登山道、不動山登山道、なおえつ海水浴場、たにはま海水浴場、谷浜跨線橋、上越妙高駅観光案内所及び商業施設、直江津駅前観光案内所、高田駅前観光案内所、観光案内看板、公衆無線LAN等

<経費>

- ・会計年度任用職員報酬、報償費、旅費（202）
- ・消耗品費、光熱水費（8,041）
- ・修繕料（5,107）
- ・光回線利用料、広告料、し尿くみ取り手数料等役務費（5,201）
- ・看板作成委託料（410）
- ・施設管理委託料（581）
- ・観光施設清掃・整備委託料（3,869）
- ・各公園等管理委託料（2,481）
- ・公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料（5,243）
- ・海岸清掃・整備委託料（16,187）
- ・海水浴場事業委託料（15,657）

- ・観光案内板差替委託料 (1,050)
- ・看板撤去委託料 (2,506)
- ・公衆無線LAN機器保守委託料 (119)
- ・機械借上料、土地借上料、事務所借上料等 (5,553)
- ・看板移設工事 (575)
- ・諸資材費 (102)
- ・公衆無線LAN機器電気料負担金 (4)
- ・たにはま海水浴場臨海学校受入整備事業補助金 (300)

[安塚区] 2,021

<主な維持管理施設>

直峰城跡公衆トイレ、信越トレイル、観光案内看板等

<経費>

- ・消耗品費、光熱水費 (29)
- ・修繕料 (10)
- ・浄化槽水質検査手数料 (5)
- ・各公園等管理委託料 (373)
- ・土地借上料等 (684)
- ・看板更新工事 (920)

[牧区] 773

<主な維持管理施設>

弘法清水自然公園、信越トレイル接続道(宇津俣峠)、観光案内看板

<経費>

- ・消耗品費、光熱水費 (41)
- ・弘法清水自然公園水質検査手数料 (139)
- ・各公園等管理委託料 (518)
- ・土地借上料 (75)

[柿崎区] 12,003

<主な維持管理施設>

柿崎中央海水浴場(駐車場、公衆トイレ)、大出口公園(公衆トイレ)、坂田池園地(駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、米山登山道、下牧休憩施設、上下浜温泉源泉施設、観光案内看板等

<経費>

- ・報酬 (122)
- ・消耗品費、光熱水費 (908)
- ・修繕料 (1,827)
- ・し尿くみ取り手数料等 (385)
- ・観光施設清掃・整備委託料 (1,200)
- ・各公園等管理委託料 (351)
- ・公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 (273)
- ・上下浜温泉源泉受湯槽清掃業務委託料 (500)
- ・海岸清掃・整備委託料 (1,001)
- ・海水浴場事業委託料 (5,111)
- ・土地借上料 (298)

- ・諸資材費 (27)

[大潟区] 6,339

<主な維持管理施設>

鵜の浜海水浴場（鵜の浜海岸、公衆トイレ）、人魚伝説公園、観光案内看板等

<経費>

- ・消耗品費、光熱水費 (296)
- ・修繕料 (30)
- ・し尿くみ取り手数料 (232)
- ・観光施設清掃・整備委託料 (60)
- ・海岸清掃・整備委託料 (644)
- ・海水浴場事業委託料 (4,674)
- ・土地借上料 (326)
- ・下水道使用料 (77)

[頸城区] 8,848

<主な維持管理施設>

大池いこいの森（キャンプ場、遊歩道、駐車場、公衆トイレ、案内看板等）

<経費>

- ・消耗品費、光熱水費 (396)
- ・修繕料 (500)
- ・し尿くみ取り手数料等 (492)
- ・各公園等管理委託料 (2,241)
- ・公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 (81)
- ・土地借上料 (552)
- ・集落排水使用料 (98)
- ・諸資材費 (20)
- ・大池いこいの森施設運営補助金 (4,380)
- ・踏み荒し補償料 (88)

[吉川区] 3,652

<主な維持管理施設>

長峰池公園（駐車場、公衆トイレ、遊歩道）、尾神岳遊歩道・展望台、パノラマハウス、尾神岳公衆トイレ、観光案内看板等

<経費>

- ・消耗品費、光熱水費 (168)
- ・修繕料 (1,536)
- ・浄化槽水質検査手数料 (61)
- ・各公園等管理委託料 (1,287)
- ・公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 (295)
- ・土地借上料 (242)
- ・諸資材費 (63)

[中郷区] 18,198

<主な維持管理施設>

泉縄文公園（駐車場、公衆トイレ）、桜並木、松ヶ峯温泉源泉施設、松ヶ峯公衆トイレ

<経費>

- ・会計年度任用職員報酬、旅費（724）
- ・消耗品費、光熱水費（1,547）
- ・修繕料（165）
- ・電信電話料（77）
- ・浄化槽水質検査手数料（9）
- ・各公園等管理委託料（3,488）
- ・公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料（138）
- ・土地借上料（144）
- ・下水道使用料（15）
- ・泉縄文公園施設整備工事（10,505）
- ・泉縄文公園案内看板設置工事（456）
- ・桜の植樹工事（930）

[板倉区] 2,073

<主な維持管理施設>

箕冠城址公園、山寺薬師公衆トイレ、聖の窟、玄藤寺湖畔公園、信越トレイル接続道（光ヶ原、筒方峠、久々野峠）、観光案内看板等

<経費>

- ・消耗品費、燃料費、光熱水費（206）
- ・修繕料（98）
- ・浄化槽水質検査手数料（9）
- ・施設管理委託料（245）
- ・観光施設清掃・整備委託料（517）
- ・各公園等管理委託料（582）
- ・公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料（266）
- ・土地借上料（150）

[清里区] 971

<主な維持管理施設>

信越トレイル接続道（梨平峠）

<経費>

- ・修繕料（604）
- ・観光施設清掃・整備委託料（367）

[三和区] 243

<主な維持管理施設>

東部緑地公園、観光案内看板等

<経費>

- ・施設管理委託料（140）
- ・土地借上料（103）

[名立区] 290

<主な維持管理施設>

不動山登山道、観光案内看板等

<経費>

・不動山登山道整備業務委託料 (290)

歳出科目（P266～P269）	7款1項3目	観光交流費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
観光施設等管理事業	454,297	286,914	167,383

主な財源		主な経費	
諸収入	66	需用費	53,401
市債	123,000	使用料及び賃借料	3,399
一般財源	331,231	役務費	893
		委託料	367,844
		工事請負費	12,528
		備品購入費	15,948

【目的】

当市を訪れる観光客に安らぎと憩いの場を提供し、市内での長期滞在を促すことにより、市民との交流の促進や域内消費の拡大につなげ、地域の活性化を図る。

【4年度目標】

利用実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)	4年度 (目標)
利用者数 (施設数)	947,328 (15施設)	491,713 (15施設)	432,165 (14施設)	743,850 (13施設)

※令和3年度から三和ネイチャーリングホテル米本陣が休館

※令和4年度から吉川緑地等利用施設を廃止（予定）

【実施内容】

- ・指定管理者制度導入施設の管理運営費（13施設）

五智歴史の里会館、リフレッシュビレッジ施設（くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家）、安塚雪だるま高原、牧湯の里深山荘、柿崎マリンホテルハマナス、大瀧健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館、吉川スカイトピア遊ランド、吉川ゆったりの郷、板倉保養センター、ゑしんの里記念館、うみてらす名立

- ・休館施設の維持管理費（2施設）

大島あさひ荘、三和ネイチャーリングホテル米本陣

○五智歴史の里会館管理運営費 6,141

- ・指定管理者 五智歴史の里協議会
- ・指定管理期間 令和3年4月1日～令和6年3月31日
- ・利用実績 9,500人（2年度）
8,979人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 20,000人
- ・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容
需用費	0	284	284	入口スロープ修繕 284
委託料	5,929	5,857	△72	指定管理委託料 5,857
合計	5,929	6,141	212	

○リフレッシュビレッジ管理運営費 77,532

- ・指定管理者 リフレ上越山里振興株式会社（予定）
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日（予定）
- ・利用実績 39,334人（2年度）
39,202人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 60,100人
- ・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容
需用費	3,260	5,107	1,847	一般営繕修繕 3,260
				浴槽漏水及び配管修繕 561
				案内看板修繕 315
				玄関前木橋修繕 290
				駐車場区画線修繕 681
委託料	44,723	66,973	22,250	源泉室維持管理委託料 1,100
				除雪業務委託料 726
				指定管理委託料 65,147
使用料及び賃借料	462	510	48	除雪機借上料 470
				誘客案内看板用土地借上料 40
工事請負費	1,032	1,147	115	くわどり湯ったり村厨房系統空調更新工事 853
				ヨーデル金谷入口北側看板新設工事 294
備品購入費	385	3,795	3,410	くわどり湯ったり村湯機（予備ポンプ）購入 3,795
合計	49,862	77,532	27,670	

○安塚雪だるま高原管理運営費 38,114

- ・指定管理者 株式会社スマイルリゾート（予定）
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日（予定）
- ・利用実績 57,282人（2年度）※2年4月～6月は指定管理者不在、施設休館
9,075人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 77,730人
- ・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容
報償費	102	0	△102	
旅費	53	0	△53	
委託料	23,100	30,359	7,259	指定管理委託料 30,359
合計	23,255	30,359	7,104	

[新] 障害者スキーの体験会等の開催 7,755

ハンディキャップのある人も野外活動の機会と時間を楽しむことができる受入れ体制を整えるため、教員・保護者向けに障害者スキーの体験会等を開催する。

障害者スキー研修・体験会開催委託料	147
インクルーシブ学校スキー授業実証事業委託料	160
多目的トイレ設置工事	3,858
インクルーシブスキー専用器具購入	3,590

○牧湯の里深山荘管理運営費 24,699

- ・指定管理者 株式会社太平堂（予定）
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日（予定）
- ・利用実績 4,227人（2年度）
6,778人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 9,850人
- ・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容
需用費	2,930	3,239	309	一般備品修繕 450
				スチームコンベクションオーブ ン修繕 164
				一般営繕修繕 2,430
				自動火災報知設備修繕 195
役務費	95	95	0	Wi-Fi回線等使用料 95
委託料	16,878	20,981	4,103	指定管理委託料 20,981
使用料及び賃借料	384	384	0	複写機借上料 19
				AED機器借上料 106
				自動車借上料 212
				LPガス供給設備借上料 47
合計	20,287	24,699	4,412	

○柿崎マリンホテルハマナス管理運営費 43,066

- ・指定管理者 柿崎総合開発株式会社（予定）
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日（予定）
- ・利用実績 9,074人（2年度）
9,322人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 14,670人
- ・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容
需用費	9,836	5,939	△3,897	収入印紙購入 1
				一般営繕修繕 1,200
				小浴昇温用熱交換器取替修繕 279
				浴場循環配管洗浄他修繕 889
				屋上等防水修繕 3,570
役務費	108	108	0	Wi-Fi回線等使用料 108
委託料	6,749	36,590	29,841	指定管理委託料 36,590
使用料及び賃借料	217	217	0	AED機器借上料 106
				駐車場用地借上料 111
工事請負費	157	0	△157	
備品購入費	593	0	△593	
負担金補助及び交付金	220	212	△8	公共下水道受益者負担金 212
合計	17,880	43,066	25,186	

○大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館管理運営費 72,926

- ・指定管理者 株式会社大潟地域活性化センター（予定）
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日（予定）
- ・利用実績 56,135人（2年度）
57,129人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 83,700人
- ・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容
需用費	8,687	14,966	6,279	一般営繕修繕 2,790
				大浴場ろ過タンク取替修繕 9,900
				大浴場ジェットノズル取替修繕 794
				塩素供給装置(風呂)ポンプ取替修繕 421
				塩素監視装置(プール)電極取替修繕 405
				屋内消火栓ポンプ呼水槽取替修繕 392
				防火設備バッテリー取替修繕 264
役務費	286	88	△198	Wi-Fi回線等使用料 88
委託料	42,010	57,031	15,021	E S C O事業委託料 3,224
				指定管理委託料 53,807
使用料及び賃借料	836	841	5	ポスレジシステム借上料 841
合計	51,819	72,926	21,107	

○吉川スカイトピア遊ランド管理運営費 15,229

- ・指定管理者 株式会社みなもとの郷（予定）
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日（予定）
- ・利用実績 4,578人（2年度）
4,539人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 6,800人
- ・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容
需用費	1,702	3,324	1,622	一般営繕修繕 855
				大広間エアコン取替修繕 2,469
委託料	2,493	10,662	8,169	指定管理委託料 10,662
使用料及び賃借料	1,246	1,063	△183	複写機借上料 66
				A E D機器借上料 76
				自動車借上料 921
工事請負費	0	180	180	脱衣室エアコン設置工事 180
合計	5,441	15,229	9,788	

○吉川ゆったりの郷管理運営費 33,416

- ・指定管理者 株式会社ゆったりの郷（予定）
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日（予定）
- ・利用実績 74,667人（2年度）
65,789人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 94,200人
- ・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容
需用費	3,979	8,238	4,259	消火器購入 183
				一般営繕修繕 3,000
				地下配管支持金物取替修繕 1,767
				2階和室換気扇取替修繕 328
				冷温水発生器薬品洗浄修繕 2,574
				冷温水発生機冷却水ポンプ修繕 386
役務費	298	92	△206	W i - F i 回線等使用料 82 消火器リサイクルシール 10
委託料	651	20,818	20,167	指定管理委託料 20,818
備品購入費	0	4,268	4,268	源泉揚湯ポンプ（予備）購入 4,268
合計	4,928	33,416	28,488	

○板倉保養センター管理運営費 25,106

- ・指定管理者 黒倉ふるさと振興株式会社（予定）
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日（予定）
- ・利用実績 13,811人（2年度）
24,358人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 33,600人
- ・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容
需用費	1,148	1,560	412	一般営繕修繕 500
				浄化槽流量ポンプ交換修繕 310
				温泉給水部交換修繕 233
				非常照明設備修繕 517
委託料	8,239	23,546	15,307	指定管理委託料 23,546
合計	9,387	25,106	15,719	

○板倉ゑしんの里記念館管理運営費 18,719

- ・指定管理者 一般財団法人ゑしんの里観光公社（予定）
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日（予定）
- ・利用実績 4,334人（2年度）
6,314人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 7,200人

・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容
需用費	300	2,611	2,311	一般営繕修繕 300
				玄関付近漏水改善修繕 1,342
				生垣補強材撤去修繕 353
				非常照明設備修繕 616
委託料	13,418	16,044	2,626	指定管理委託料 16,044
使用料及び賃借料	66	64	△2	AED機器借上料 64
合計	13,784	18,719	△4,935	

○うみてらす名立管理運営費 94,525

- ・指定管理者 株式会社B J・株式会社ゆめ企画名立（予定）
- ・指定管理期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日（予定）
- ・利用実績 202,190人（2年度）
199,830人（3年4月～3年12月）
- ・4年度目標 336,000人
- ・事業費内訳

科目	3年度	4年度	増減	実施内容				
需用費	10,133	7,210	△2,923	一般営繕修繕 3,769				
				休憩棟自動ドア部品修繕 275				
				健康交流館男女浴室2階換気扇修繕 385				
				健康交流館男サウナ室天井修繕 163				
				健康交流館給湯3方弁修繕 737				
				健康交流館貯湯槽制御機器修繕 374				
				機械棟電気室扉転倒防止修繕 1,364				
				中庭プール海水取水ポンプ修繕 143				
				役務費	330	330	0	電話料(道の駅公衆電話) 33 Wi-Fi回線等使用料 297
				委託料	49,568	75,180	25,612	E S C O事業委託料 8,080 指定管理委託料 67,100
使用料及び賃借料	1,259	120	△1,139	誘客案内看板用土地借上料 71 急速充電器電気使用料 49				
工事請負費	14,626	7,343	△7,283	健康交流館女サウナ設備更新工事 2,805				
				健康交流館男女檜風呂改修工事 1,958				
				地場物産館・水産加工場グリストラップ蓋枠改修工事 1,157				
				地場物産館鮮魚売場湯沸器更新工事 125				
				地場物産館自家発電機整備工事 1,298				

科 目	3 年度	4 年度	増減	実施内容
備品購入費	446	4,295	3,849	地場物産館2階レストランチームコンベクションオープン購入 1,650 ホテルベッドマットレス購入 2,645
負担金補助及び交付金	47	47	0	道の駅連絡協議会負担金 47
合 計	76,409	94,525	18,116	

○大島あさひ荘管理運営費 2,024

- ・※平成27年1月から休館
- ・事業費内訳

科 目	3 年度	4 年度	増減	実施内容
委託料	946	2,024	1,078	広場管理委託料（草刈り） 23 屋根除雪委託料 569 周辺除雪委託料 508 アスベスト検体分析委託料 924

○三和ネイチャーリングホテル米本陣管理運営費 2,800

- ・※令和3年4月から休館
- ・事業費内訳

科 目	3 年度	4 年度	増減	実施内容
需用費	1,328	923	△405	光熱水費 873 車両修繕（車検） 50
役務費	189	180	△9	電話料 61 車両車検関係手数料 87 簡易水道検査手数料 19 車両自賠償保険料 13
委託料	2,365	1,472	△893	浄化槽維持管理委託料 57 機械警備業務委託料 238 電気保安業務委託料 134 消防設備点検委託料 137 防火設備点検委託料 165 冷暖房設備維持管理委託料 627 受水槽清掃点検委託料 60 地下灯油タンク点検委託料 54
使用料及び賃借料	296	200	△96	源泉使用料 200
工事請負費	660	0	△660	
公課費	0	25	25	車両重量税 25
合 計	4,838	2,800	△2,038	

歳出科目 (P268～P269)	7款1項5目	観光物産センター費
------------------	--------	-----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
観光物産センター管理運営費	21,381	21,388	△7

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	6,335	一般財源	14,806
財産収入	180	需用費	9,543
諸収入	60	役務費	272
		委託料	10,889
		使用料及び賃借料	677

【目的】

市内事業者による貸館利用や姉妹都市の観光と物産展の開催など、観光客や市民に対し特産品等の展示・販売を行う施設として管理するとともに、観光施設のパンフレット、イベントチラシ等による観光情報の発信を行い、誘客促進を図る。

【4年度目標】

貸館利用回数実績及び目標

(単位：回)

区分	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)	4年度 (目標)
大ホール	99	74	74	120
中ホール	80	51	44	70
会議室	122	64	86	140
合計	301	189	204	330

利用者数実績及び目標

(単位：人)

年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)	4年度 (目標)
利用者数	79,318	23,174	28,653	45,000

※利用者数は貸館利用者とふるさとコーナー来館者の延べ入込客数である

【実施内容】

- ・需用費 9,543 (消耗品費、電気料金、ガス料金、水道料金、修繕料等)
- ・役務費 272 (電話料、広告料)
- ・委託料 10,889 (清掃受付等案内、機械警備、電気保安等)
- ・使用料及び賃借料 677 (施設管理用物品借上料、下水道使用料等)

【施設の概要】

- ・所在地 大字藤野新田 175 番地 1
- ・設置 平成 3 年度
- ・構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階建て
- ・施設内容 大ホール：592 m²、中ホール：157 m²、会議室：111 m²
ふるさとコーナー、事務所
- ・面積 延床 2,463.59 m²
- ・管理 直営
- ・利用形態 貸館施設

提出課	産業立地課
-----	-------

歳出科目 (P278～P279)	8款4項1目	港湾管理費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
港湾管理費	432	257	175

主な財源		主な経費	
諸収入	85	報償費	50
一般財源	347	需用費	122
		役務費	128
		使用料及び賃借料	132

【目的】

港の役割や機能について広く周知・啓発することにより、港への理解を深め、直江津港の賑わいの創出につなげる。

【4年度目標】

港の役割や機能を周知するイベントを港湾関係団体や港周辺立地企業と年間を通じて行い、多くの市民等が港に触れ合う機会を提供する。

【実施内容】

- ・直江津港見学会 (387)

港湾関係団体、港周辺立地企業や地域と連携し、港の役割や機能を周知するイベントを実施

<実施概要 (予定) >

開催回数 年6日 (各日、午前・午後の2回)

会場 直江津港周辺

協力団体 港湾関係団体、港周辺立地企業、地元団体等

事業内容 港湾施設やエネルギー関連施設の見学、巡視艇や遊漁船の体験乗船、小木直江津航路のPR等

- ・直江津港案内看板等の維持管理 (45)

歳出科目（P278～P279）	8款4項1目	港湾管理費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
港湾整備事業	2,286	2,405	△119

主な財源		主な経費	
諸収入	103	旅費	373
一般財源	2,183	需用費	6
		負担金補助及び交付金	1,907

【目的】

当市の重要な産業基盤である直江津港の機能を強化するため、港湾関係団体と連携を図りながら、港湾計画に基づく直江津港の整備を促進する。

【4年度目標】

国や新潟県が実施する直江津港の整備が計画どおり進められるよう働きかけを行う。

【実施内容】

日本港湾協会、新潟県港湾協会等関連団体への負担金支出及び総会等への参加など

■令和4年度以降の整備箇所図

※国・新潟県の予算措置の状況により変更となる場合がある。

